

令和5年度

学校関係者評価アンケート

ま と め

世田谷区立瀬田中学校

も く じ

内 容	ページ
令和5年度 学校経営計画	1～2
1 生徒アンケートの回答分布と平均 (1)生徒全体 (2)肯定的回答・否定的回答・「わからない」という回答 (3)学年別 生徒	3～5 6 7～15
2 保護者アンケートの回答分布と平均 (1)保護者全体 (2)肯定的回答・否定的回答・「わからない」という回答 (3)学年別 保護者	16～20 21 22～36
3 地域 (1)地域全体 (2)肯定的回答・否定的回答・「わからない」という回答	37～39 40
4 自己評価報告書	41・42
5 学校関係者評価委員会 報告書	43～45
6 「令和5年度に向けての改善方策」について実施した改善結果	46・47
7 令和6年度に向けての改善方策	48



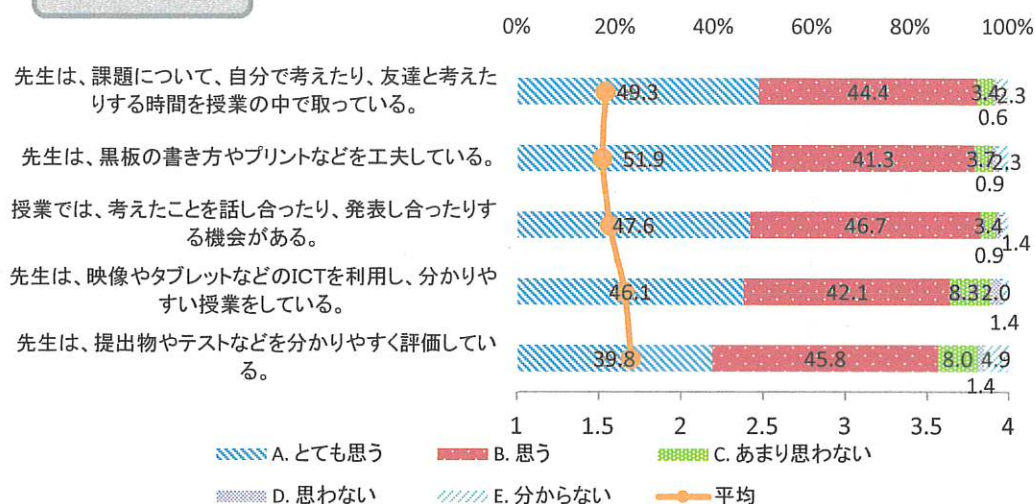
～生徒の夢の実現を支援する学校～

教育目標	一よき校風を継承し、豊かな心をもち行動力のある生徒の育成一 ・学ぶ力・考える力を身につける ・お互いを認め合う中で自分のよさを知る ・地域・社会の一員として健全な心身を養う	
スローガン	瀬田中学校スローガン 「信頼と思いやり」 〈生徒同士の信頼・生徒と教師との信頼・学校と保護者地域との信頼〉の醸成	
目指す学校像	めざす学校像	～生徒の夢の実現を支援する学校～ ・生徒が生き生きと楽しく学び、学校に愛着と誇りをもてる学校 ・教職員が、組織として団結し、働き甲斐を感じられる学校 ・保護者・地域から愛され信頼され、「あいさつ」が響く学校
	めざす生徒像	明るく元気に楽しく ・主体的に考え学び抜く生徒 ・誠実で思いやりをもって接することのできる生徒 ・心身を鍛え、仲間と切磋琢磨する生徒 中学校は大人になる準備の期間です。新しいことに挑戦し、その過程で失敗や成功を経験しながら、成長してほしい。
	めざす教師像	服務には厳しく、人間関係は温かく ・生徒の特性を理解し、伸ばす教師 ・わかる授業で生徒を引きつける教師 ・人権感覚を磨き、生徒とともに共感する教師
重点目標	◎確かな学力をもとにした探究的な学習の実現 ◎多様性を尊重する豊かな人間性の育成 ◎自分自身が思い描く未来を実現できる「キャリア・未来デザイン教育の実現」 ○地域社会の一員として活躍できる人材の育成	
多摩川の学び舎	～キャリア・未来デザイン教育～ 二子玉川小、瀬田小、桜町小との連携 教育目標 「豊かな心」「学ぶ意欲」「健康な体」 基本方針 (1) 豊かな人間性 「豊かな心」、豊かな感性、社会の一員としての自覚を育む。 (2) 豊かな知力 「学ぶ意欲」を高める指導を追求し、質の高い義務教育を目指す。 (3) 健やかな身体 「健康な体」を目標に、基礎的な体力の向上を目指す。 (4) キャリア・未来教育の充実 キャリア教育を中心として、一人一人が社会の担い手として、自らの課題に向き合い判断し行動し、それぞれの思い描く未来を実現できる人材を育成する。	

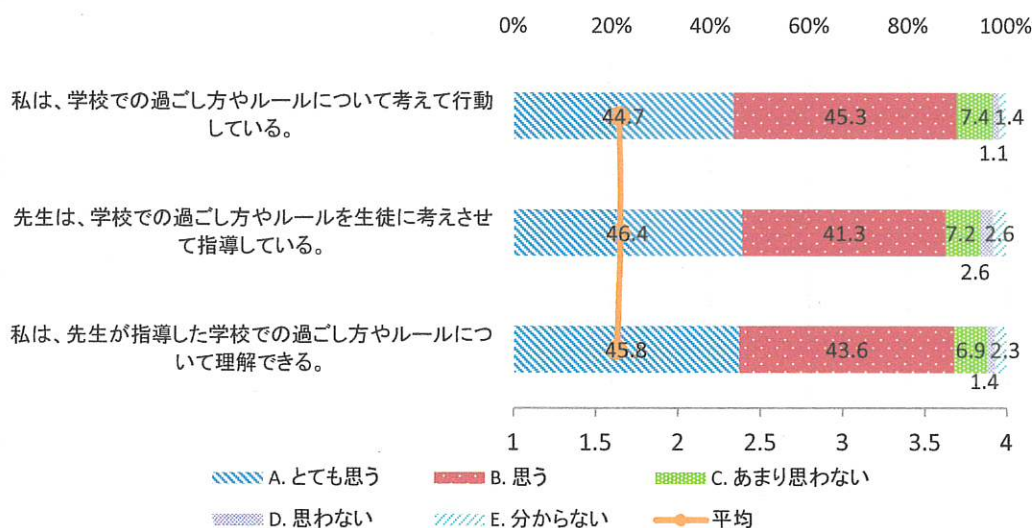
学校の重点目標を達成するための基本方針	◎学習指導 確かな学力・わかりやすい授業・生徒主体の授業・授業改善 ・「本時のねらい」の明示と「まとめ」による振り返り ・「ICT教育実践校」としての研究・研修の実施と教育活動の推進 ・ICTの活用による「せたがや探究的な学び」・「個別最適化した学習」の推進 ・主体的対話的で深い学びの実現・言語活動やグループ学習による課題解決的な学習の推進 ・主体的対話的で深い学びの実現・言語活動やグループ学習による課題解決的な学習の推進 ◎生活指導・キャリア教育 あいさつ・規範意識・失敗からの学び・思いやり ・自己肯定感・意欲を持てる教育活動の展開、いじめ、不登校の未然防止・早期発見・早期解決 ・人権尊重の精神を培い、多様性を理解し、尊重しあえる教育活動の展開、思いやりを大切にすること ・特別支援教育、ユニバーサルデザインの推進・学校生活支援シートや個別指導計画の活用 ・「キャリア・未来デザイン教育」の推進、キャリアパスポートの活用、キャリアプランニング能力の育成 ◎道徳 豊かな心・特別の教科道徳の充実・22の内容項目の指導 ◎特別活動 生徒会活動の充実・特色ある行事・部活動・2020レガシー ◎保護者地域との連携 地域運営学校（学校運営委員会）・保護者・地域との交流・情報公開・地域ボランティア
組織運営方針	(1) 会議時間の短縮、諸課題への迅速な対応を図るため、「企画委員会」は、各分掌主任・学年主任が出席し、行事や課題に対する連絡調整を図る。各主任は、必要に応じて関連分掌と調整し、議題を提出する。会議後は、所属分掌・学年職員に情報の周知を確実にする。 (2) 職員連絡会は、校長の方針等を周知・伝達、所属職員等の意見聴取、及び教職員が相互の連絡を図るために実施する。各分掌からは、企画委員会で調整後の案件を伝達する。 (3) 管理職と教員、教員相互の報告・連絡・相談を徹底し、学年・分掌の情報交換を十分実施し、学校を組織として機能させ、きめこまかな生徒指導や保護者対応をする。 (4) 諸帳簿の確実な管理および提出により、教育課程の進行管理を適正に進める。 (5) 文書配布、予算執行、その他すべての教育活動は、起案決裁に基づき校内の意思決定を進める。 (6) 校務の円滑化・効率化や会議、打ち合わせ時間の短縮を図り、教員が生徒と関わる時間を増やす。
その他	(1) 生徒指導にあたっては、体罰は絶対に許されないという認識のもと、指導にあたる。 (2) 教職員には都民の厳しい目が注がれていることを強く認識し、服務事故が起きないよう服務の厳正に務める。

生徒

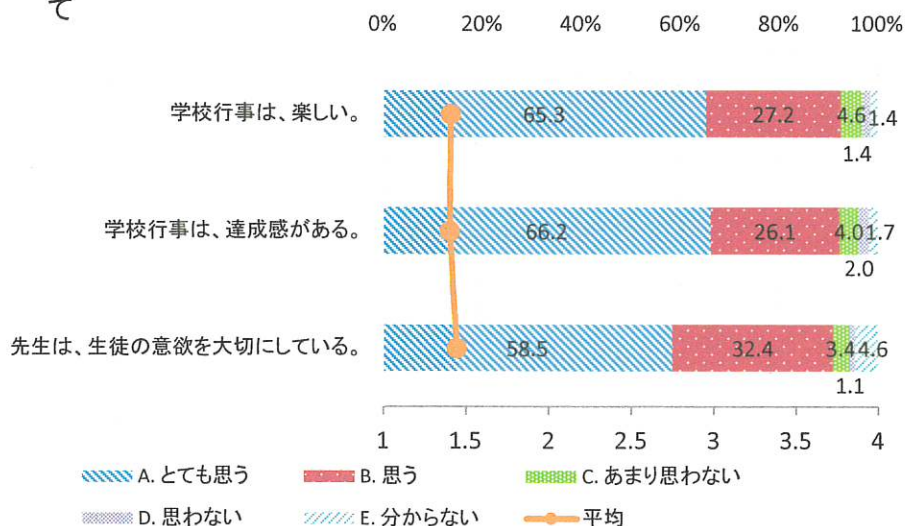
1. 学習について



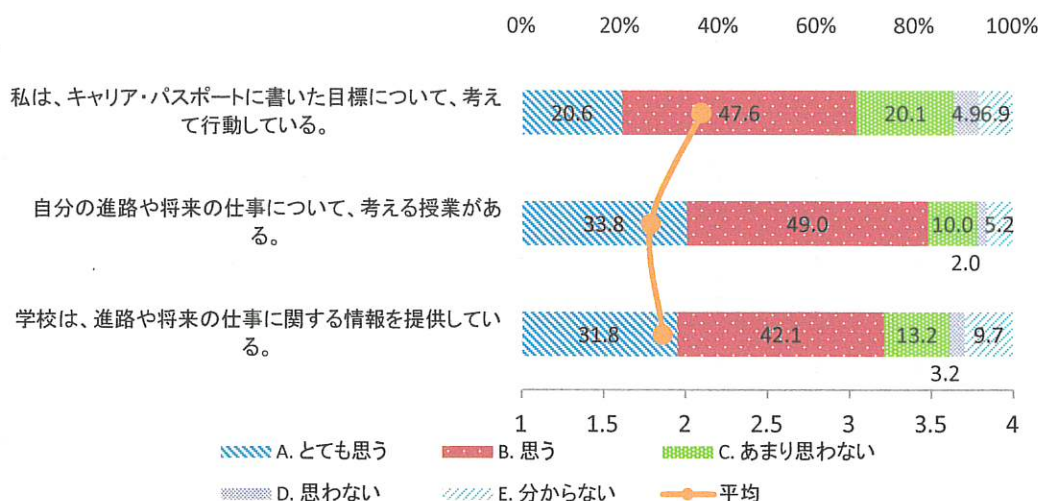
2. 生活指導について



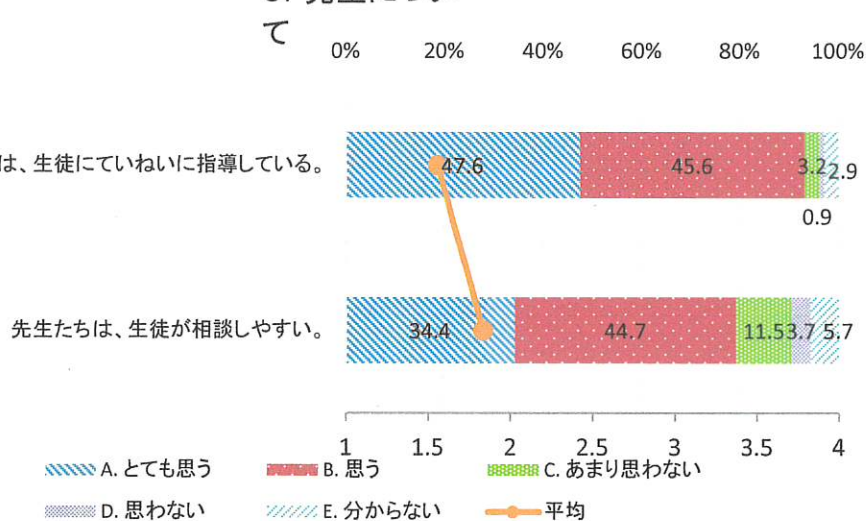
3. 学校行事(運動会・学芸会、学習発表会、宿泊行事など)について



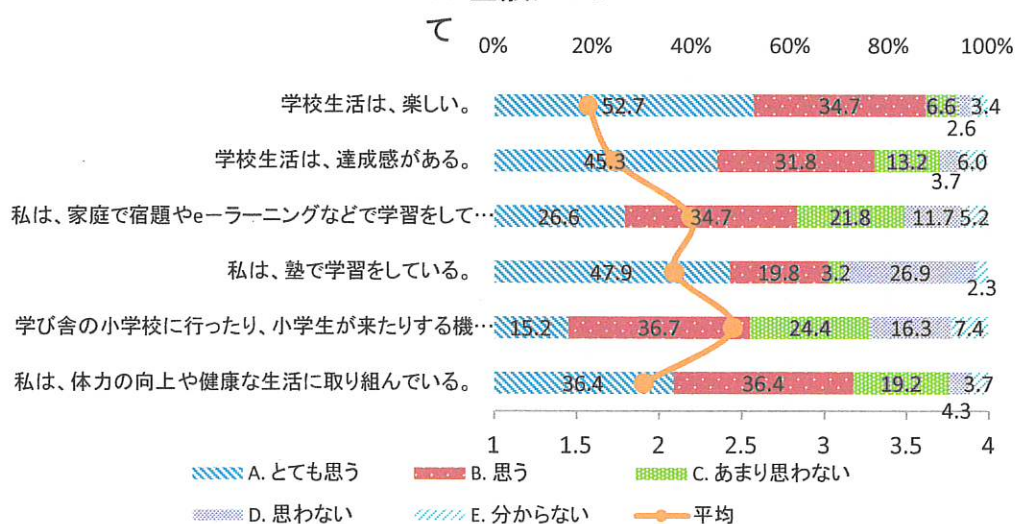
4. キャリア教育について



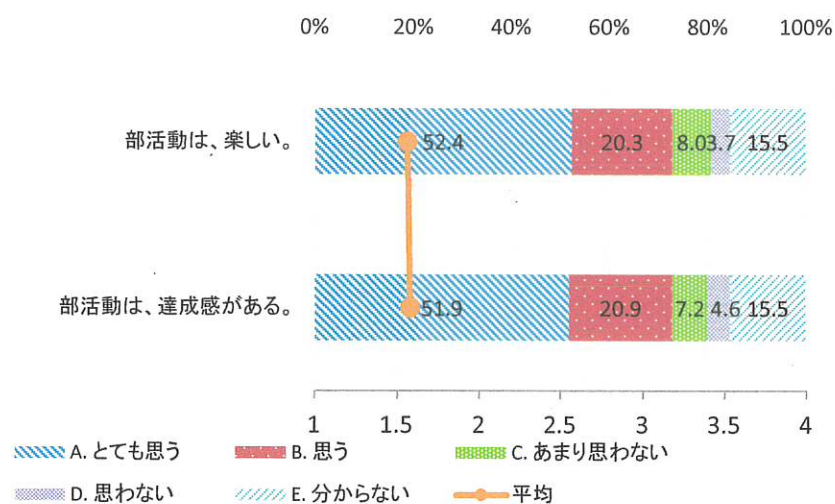
5. 先生について



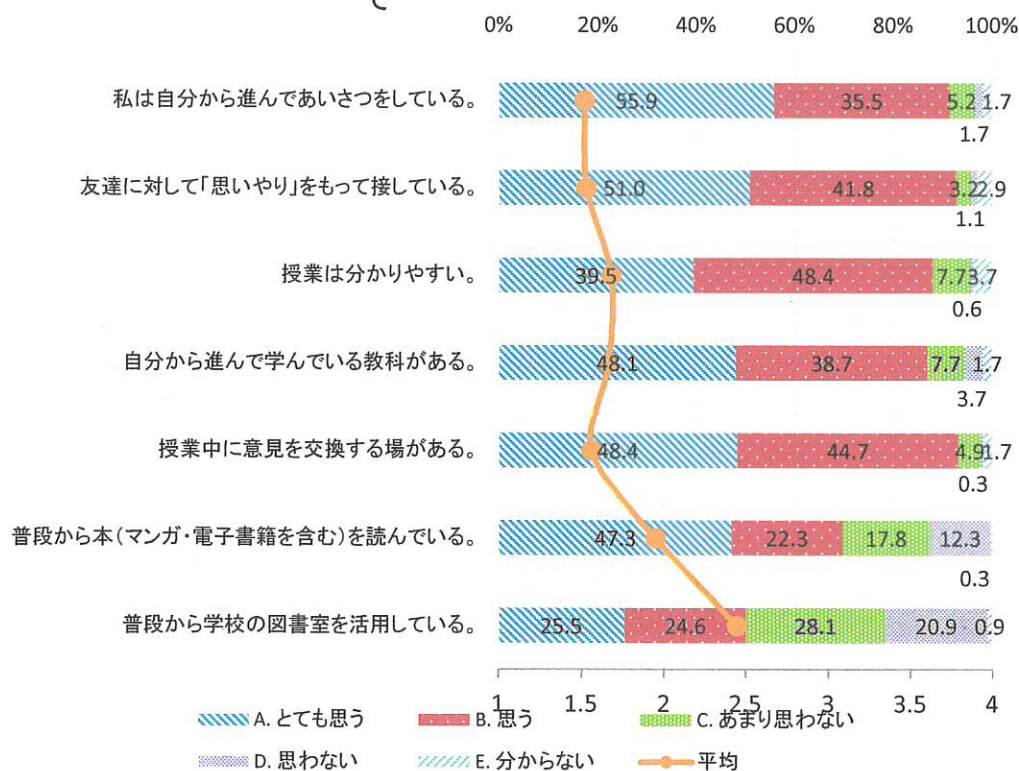
6. 全般について



7. 部活動について

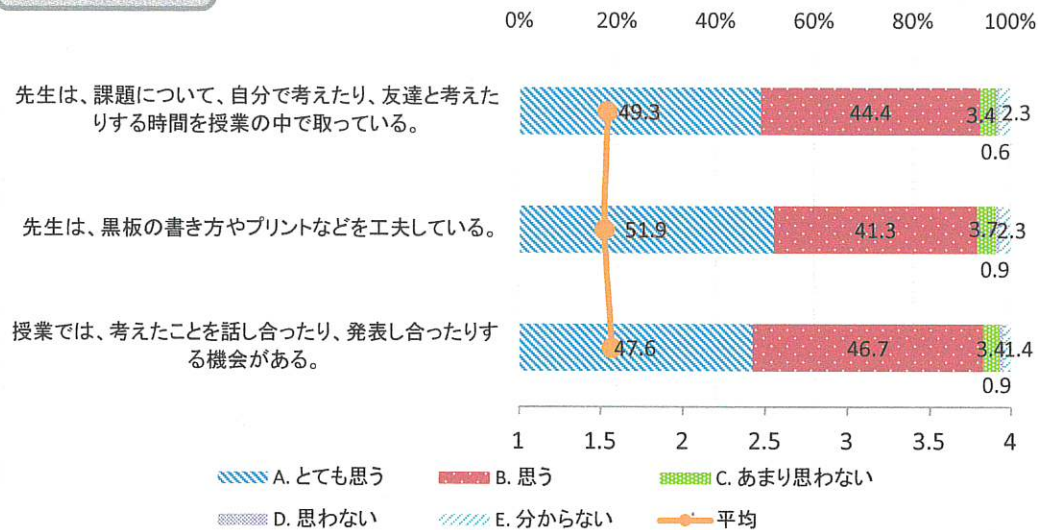


8. 学校独自項目について

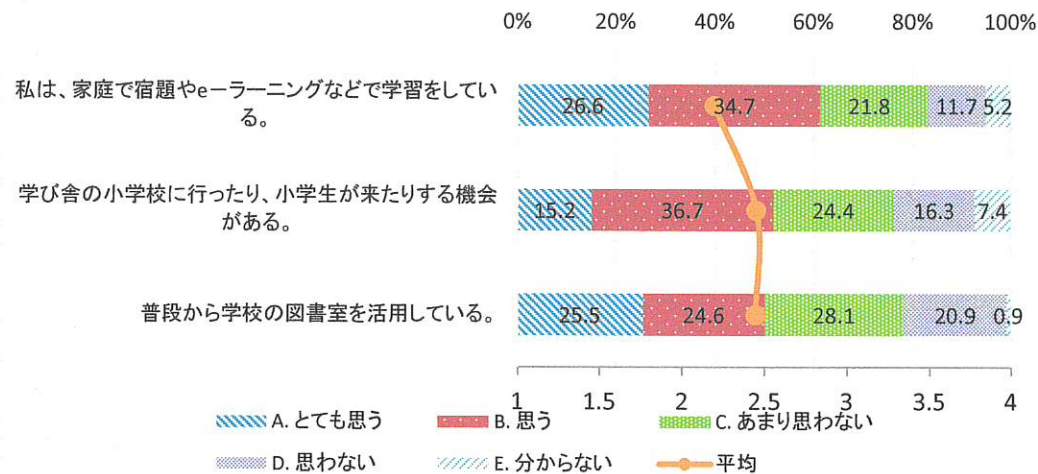


生徒

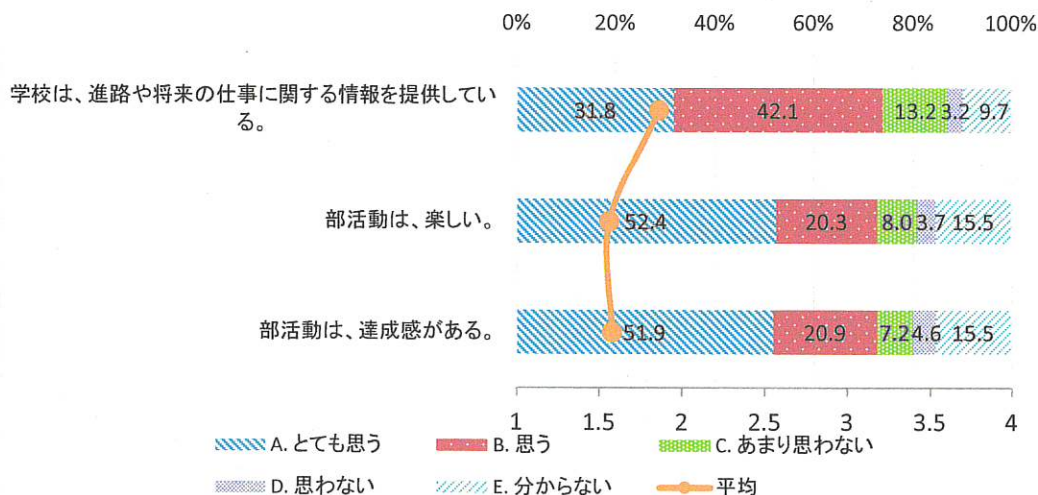
肯定的回答(「とても思う」「思う」)の多かった項目



否定的回答(「あまり思わない」「思わない」)の多かった項目

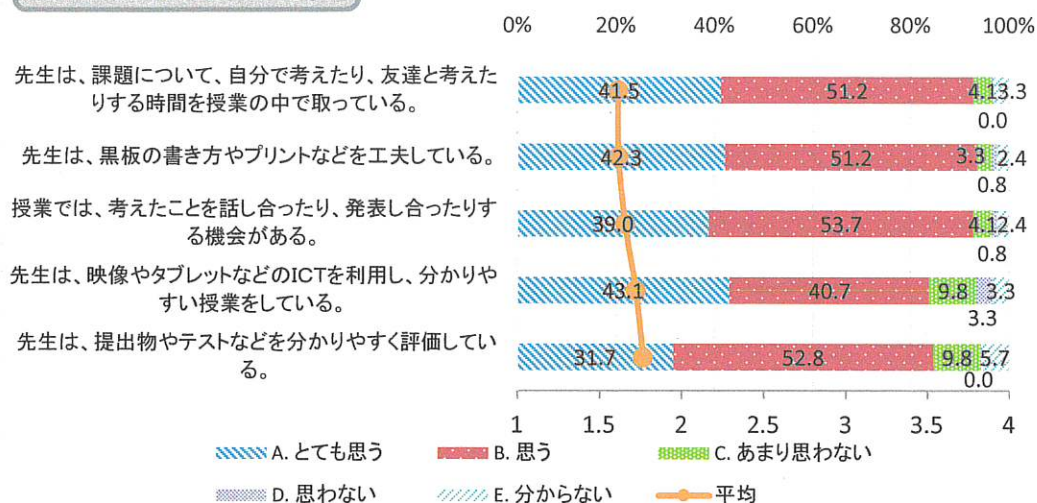


「わからない」という回答の多かった項目

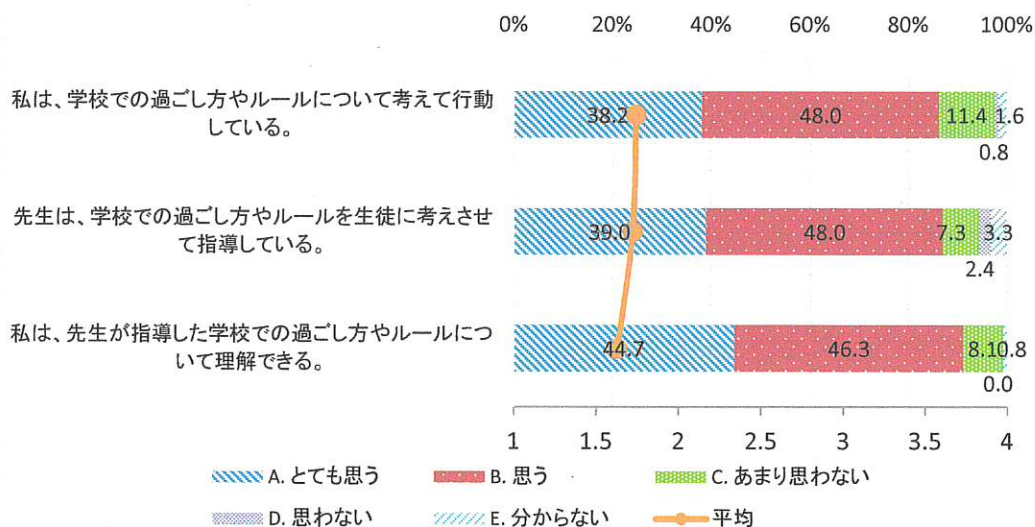


生徒 1年生

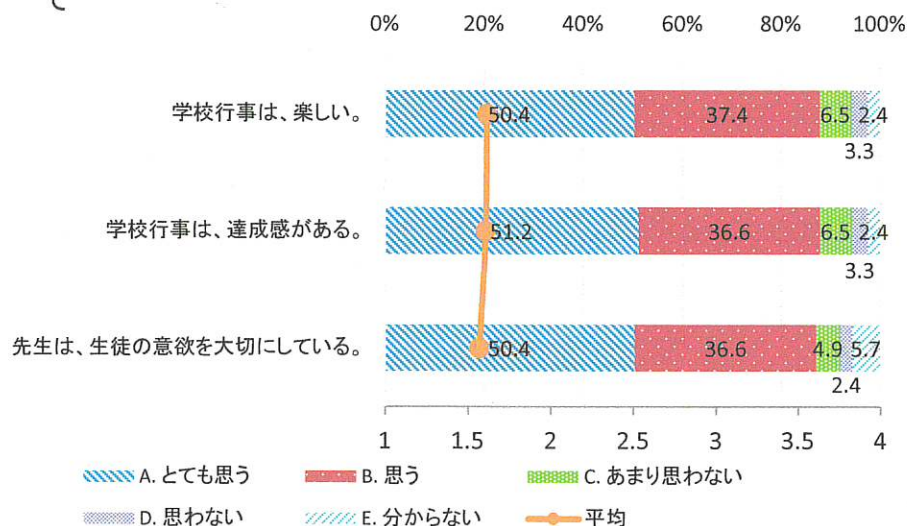
1. 学習について



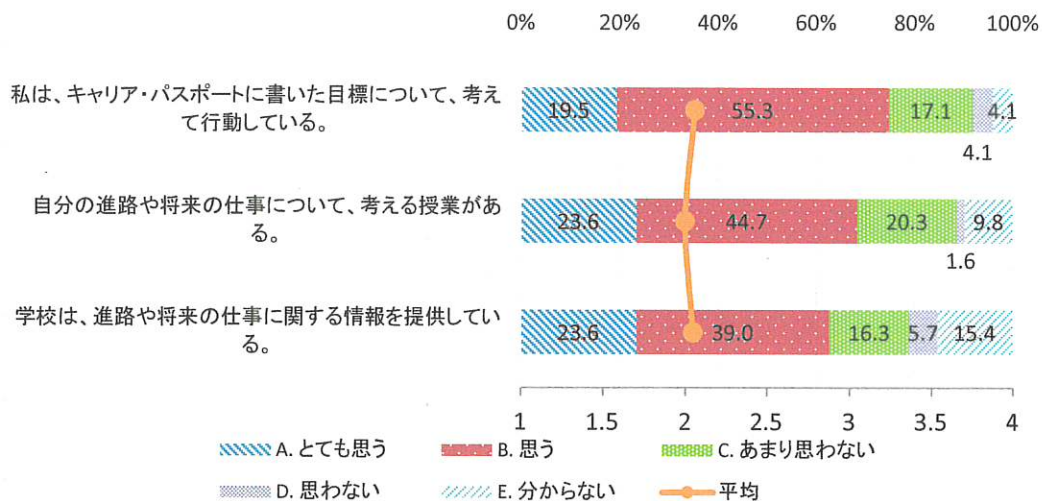
2. 生活指導について



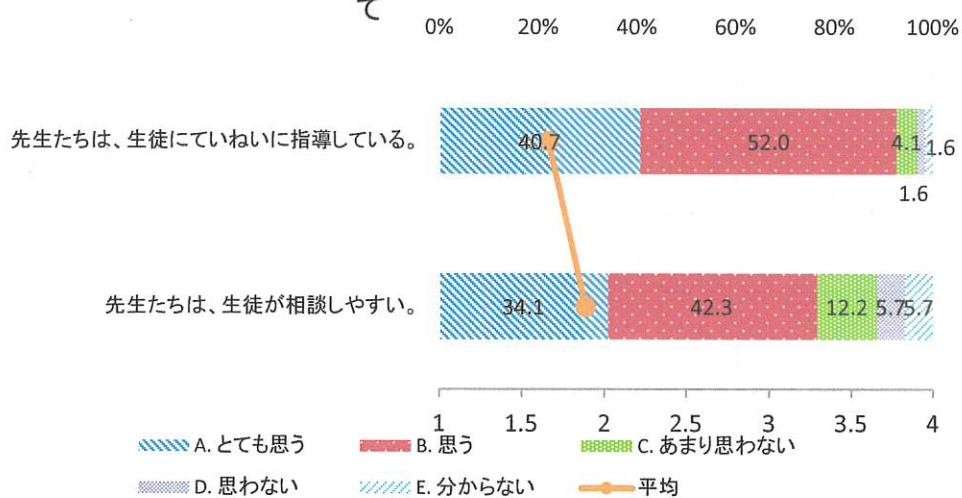
3. 学校行事(運動会・学芸会、学習発表会、宿泊行事など)について



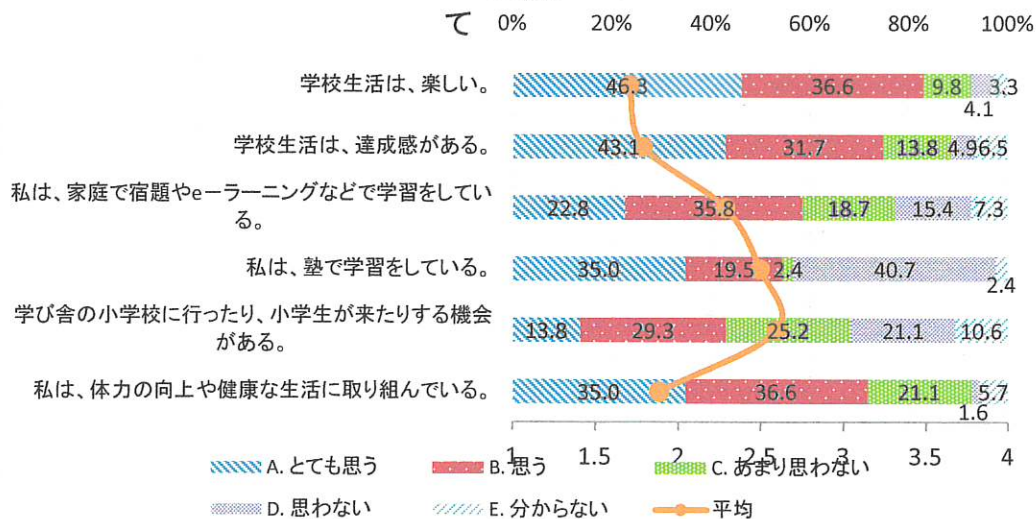
4. キャリア教育について



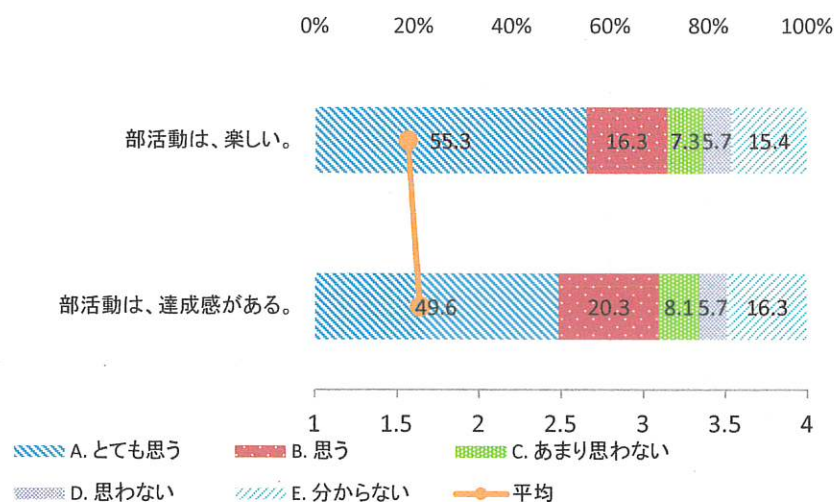
5. 先生について



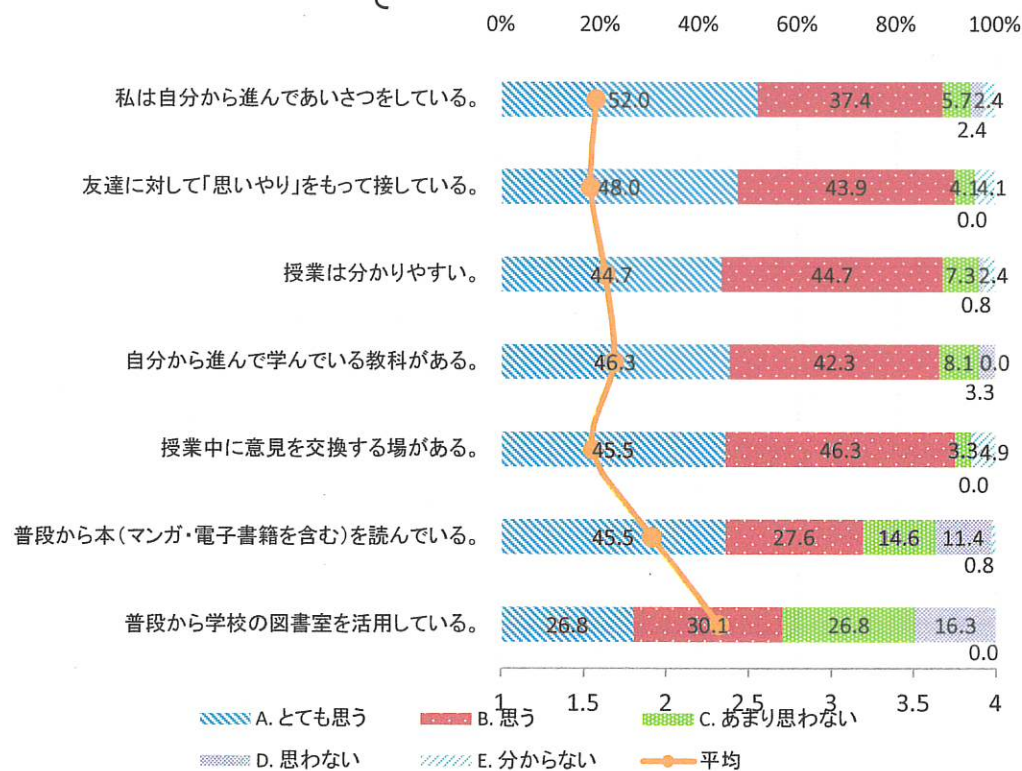
6. 全般について



7. 部活動について

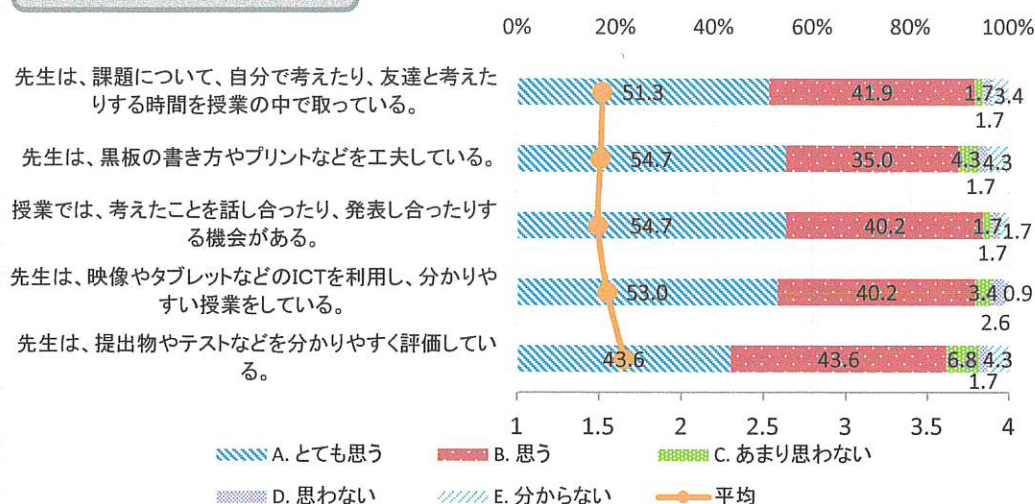


8. 学校独自項目について

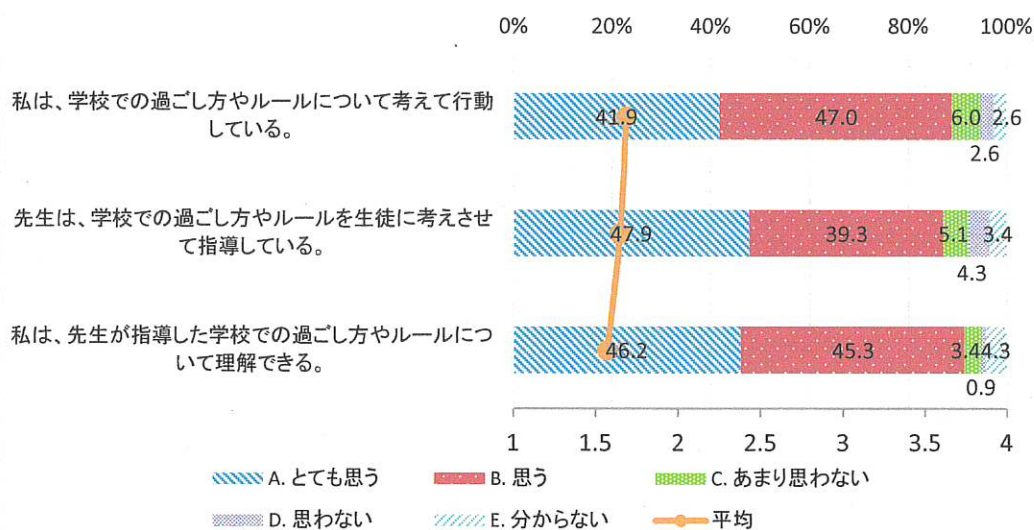


生徒 2年生

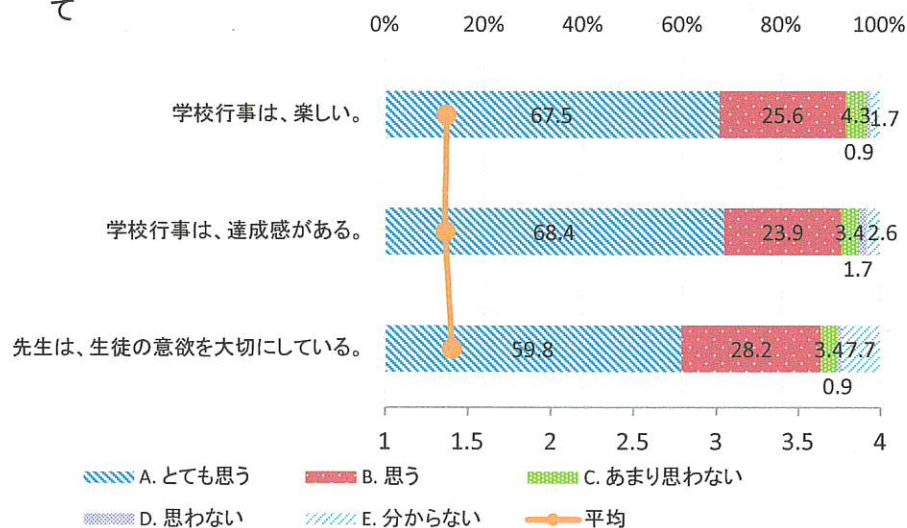
1. 学習について



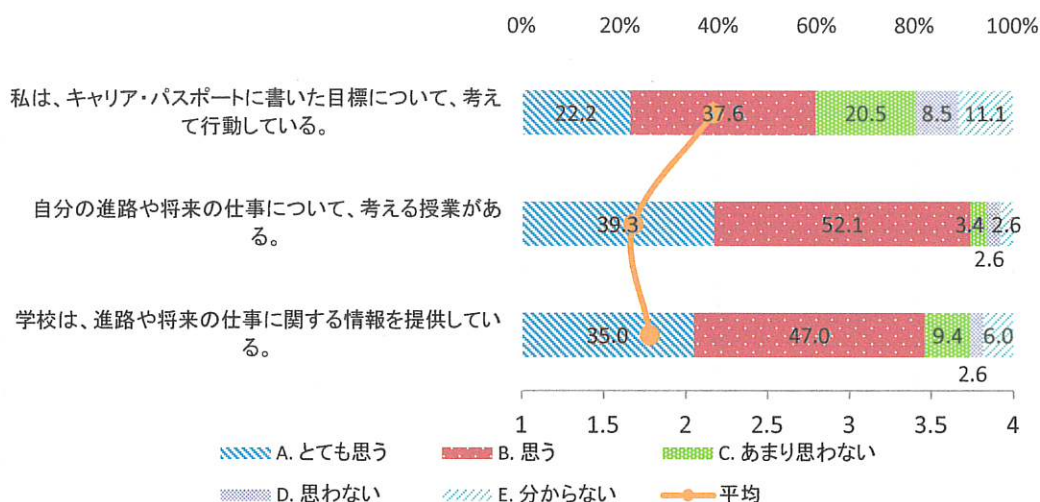
2. 生活指導について



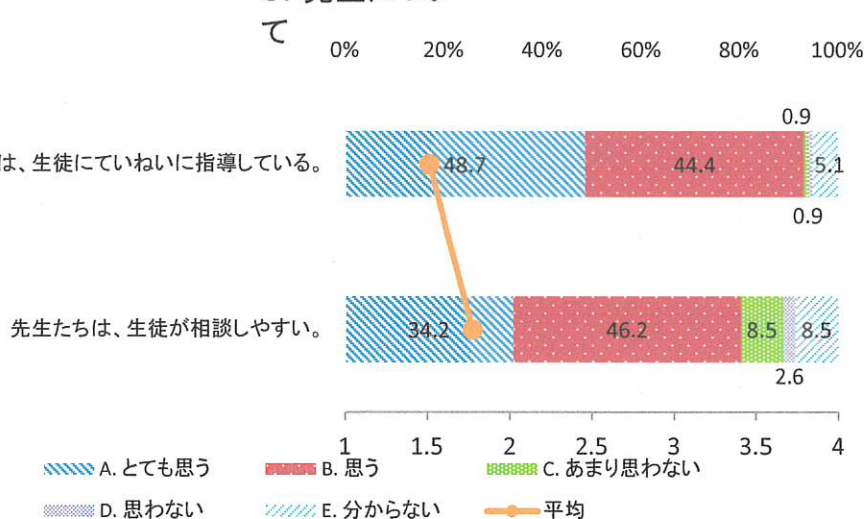
3. 学校行事(運動会・学芸会、学習発表会、宿泊行事など)について



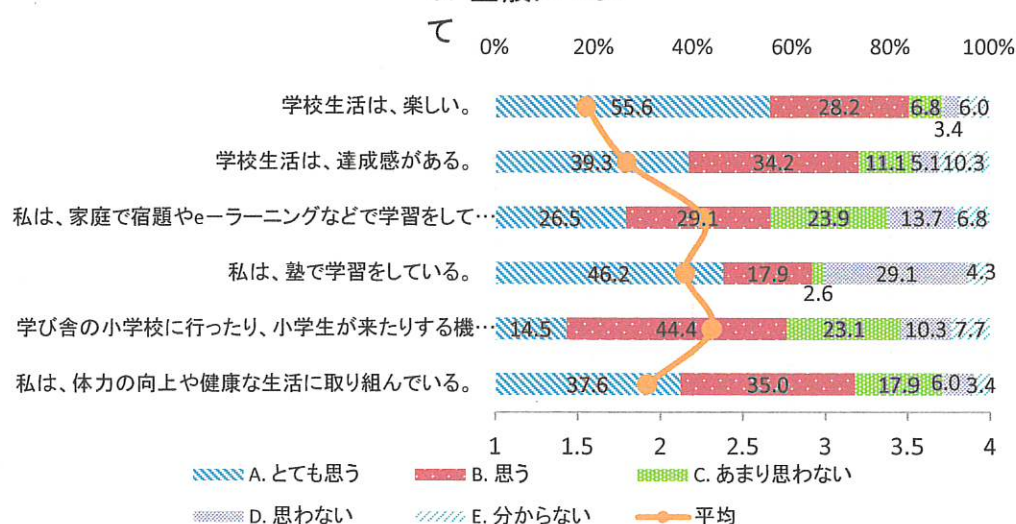
4. キャリア教育について



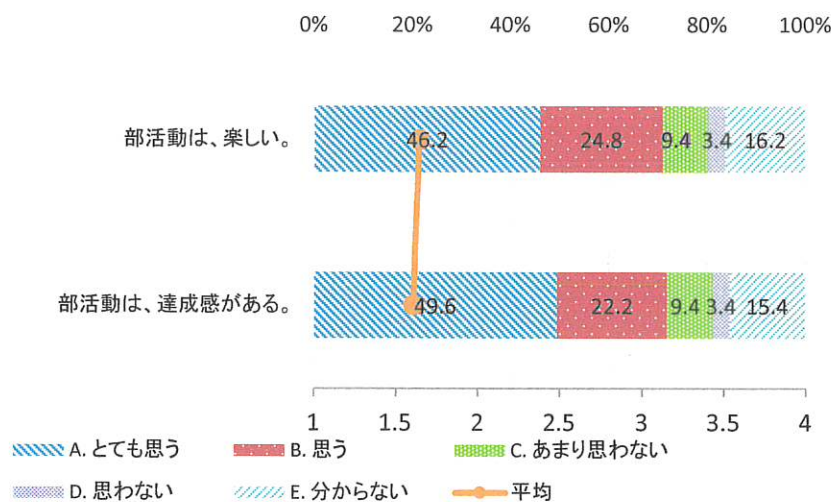
5. 先生について



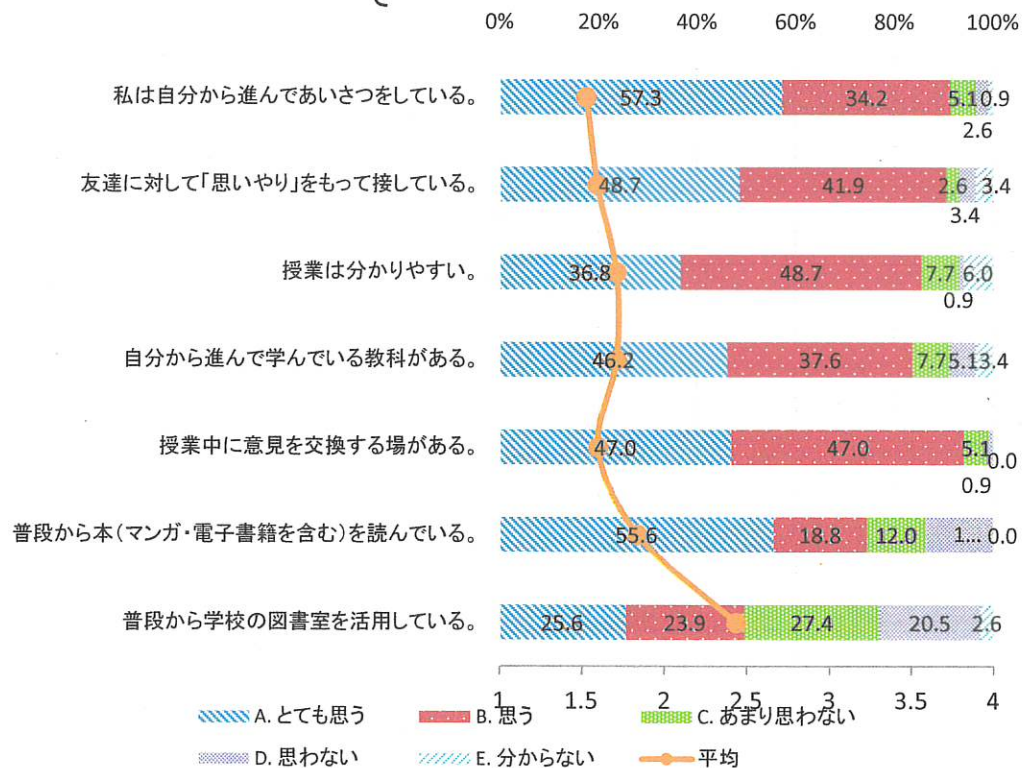
6. 全般について



7. 部活動について

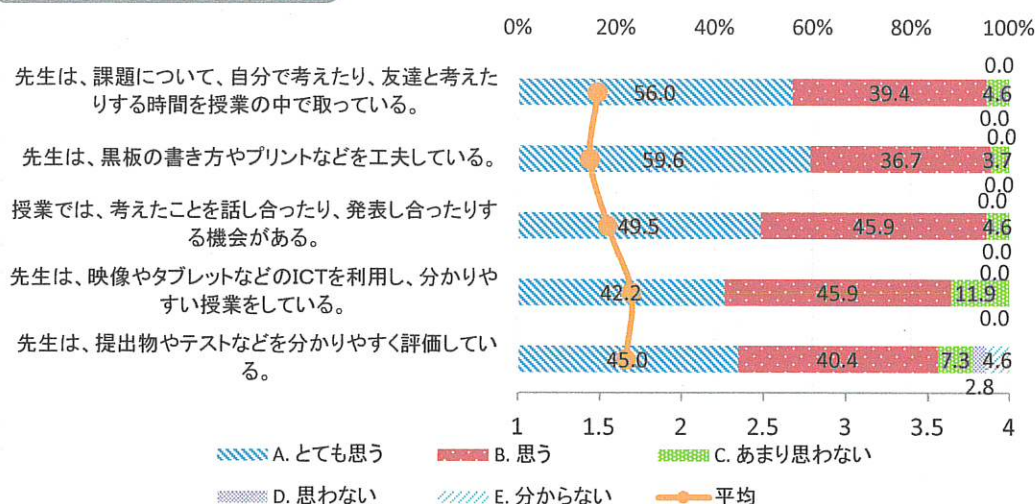


8. 学校独自項目について

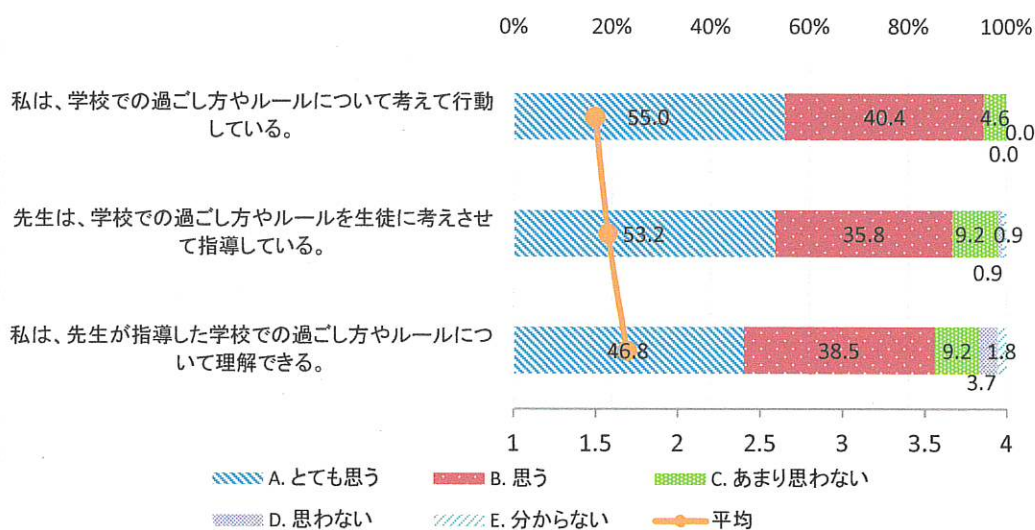


生徒 3年生

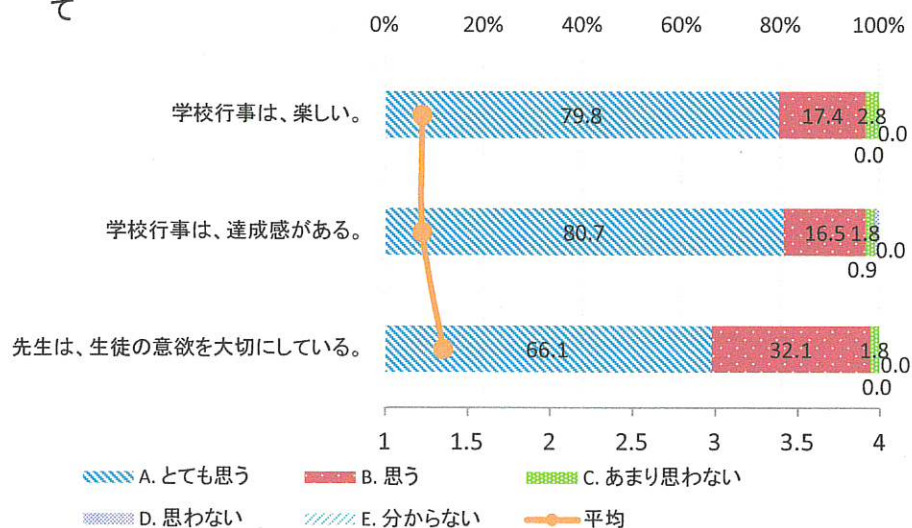
1. 学習について



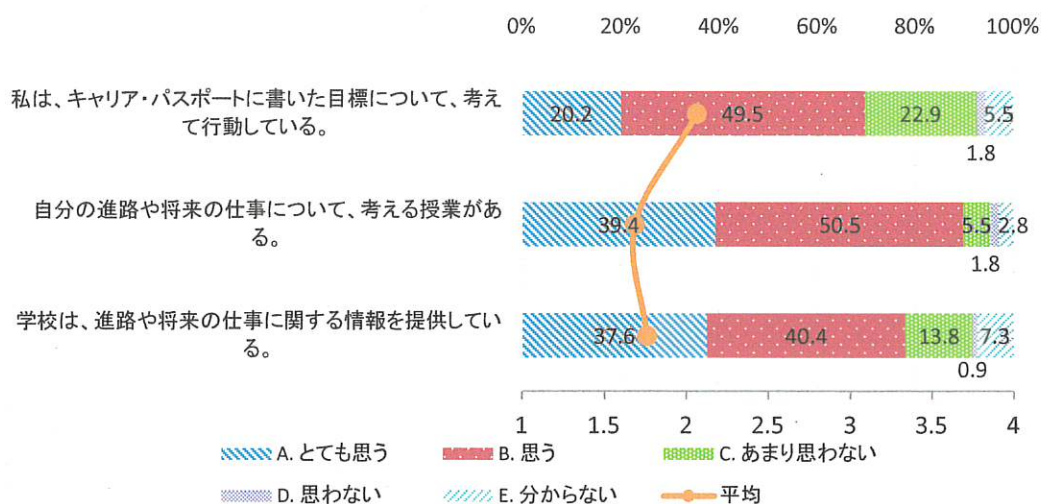
2. 生活指導について



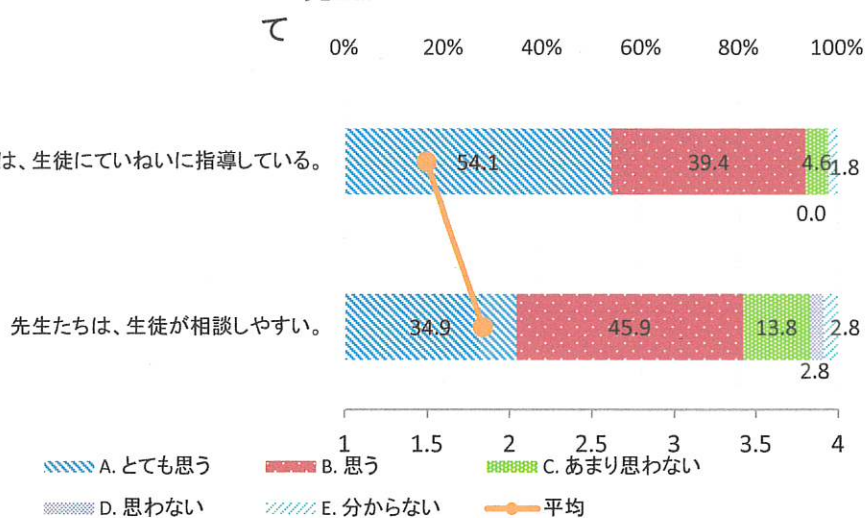
3. 学校行事(運動会・学芸会、学習発表会、宿泊行事など)について



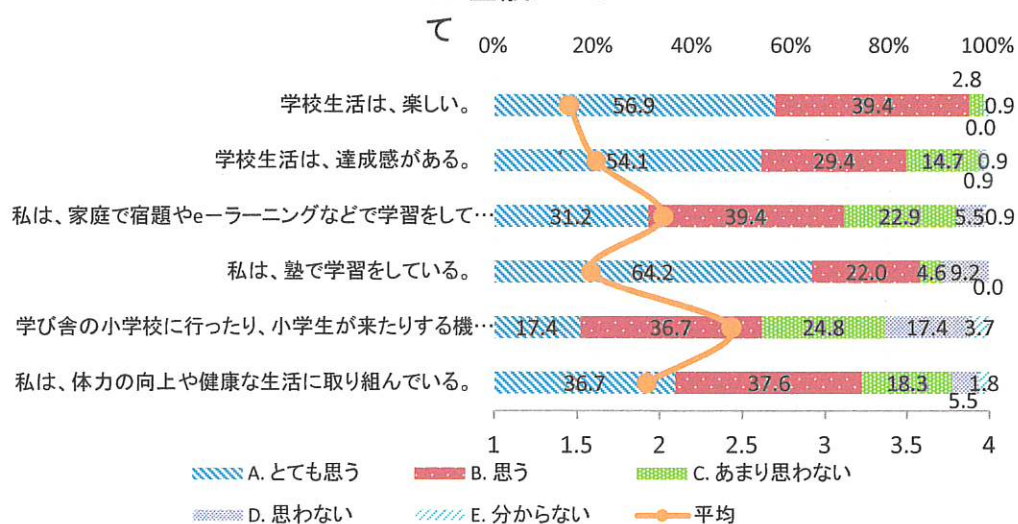
4. キャリア教育について



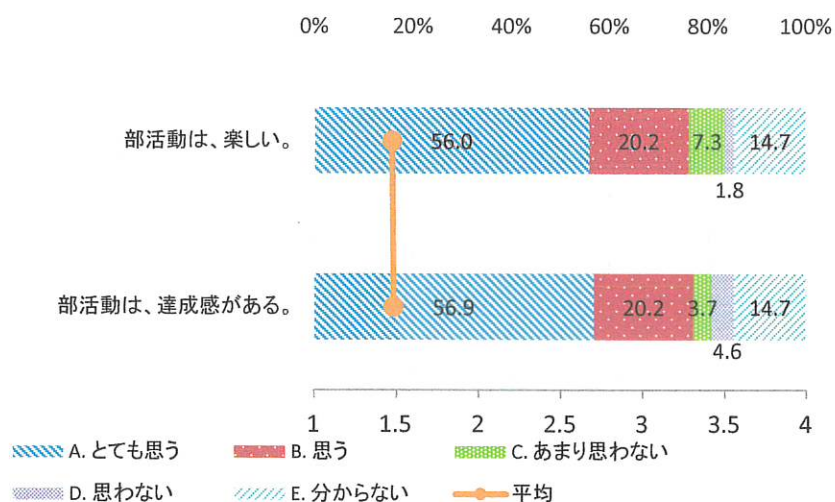
5. 先生について



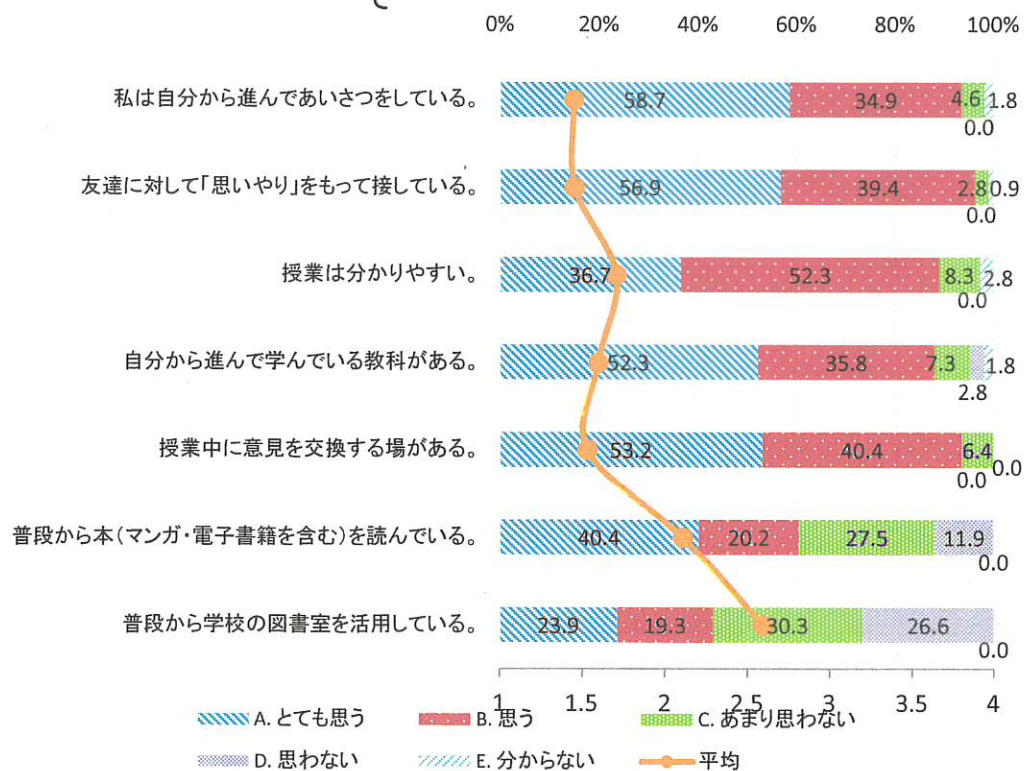
6. 全般について



7. 部活動について

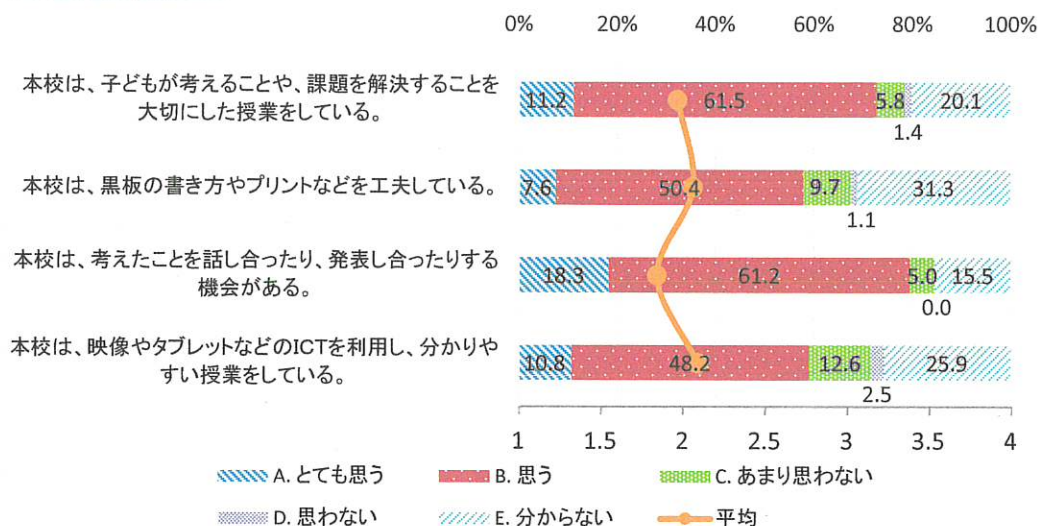


8. 学校独自項目について

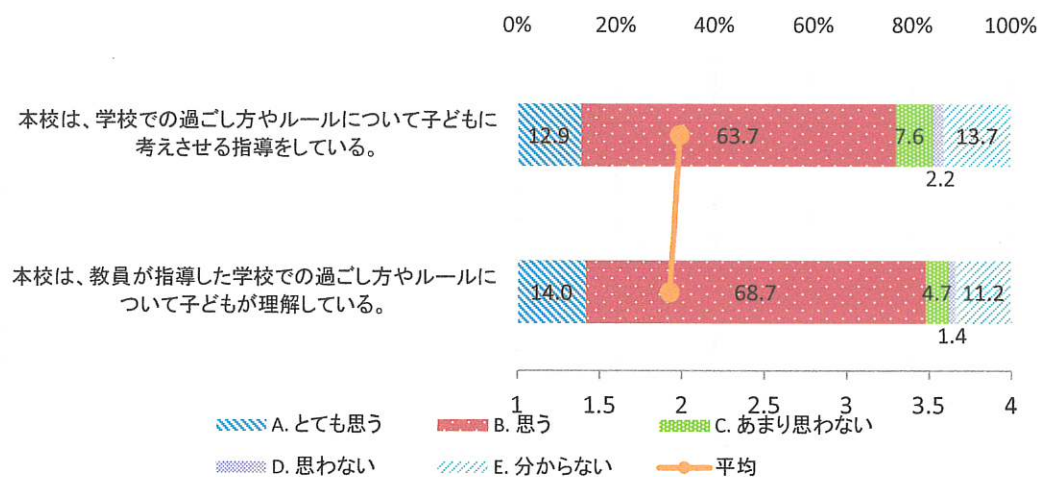


保護者

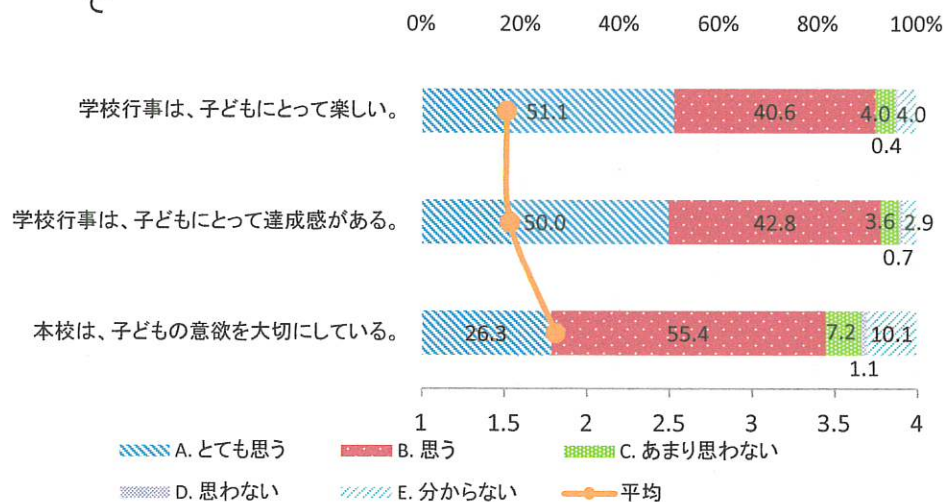
1. 学習指導について



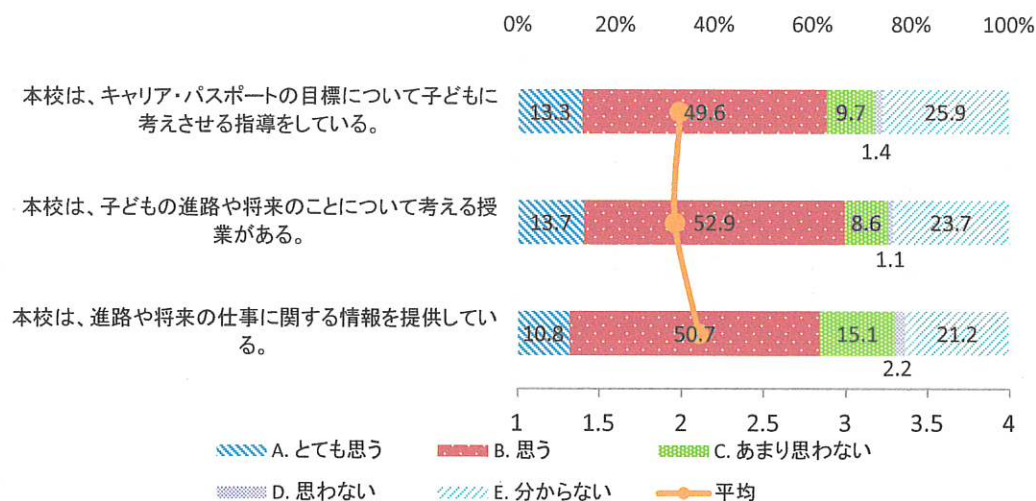
2. 生活指導について



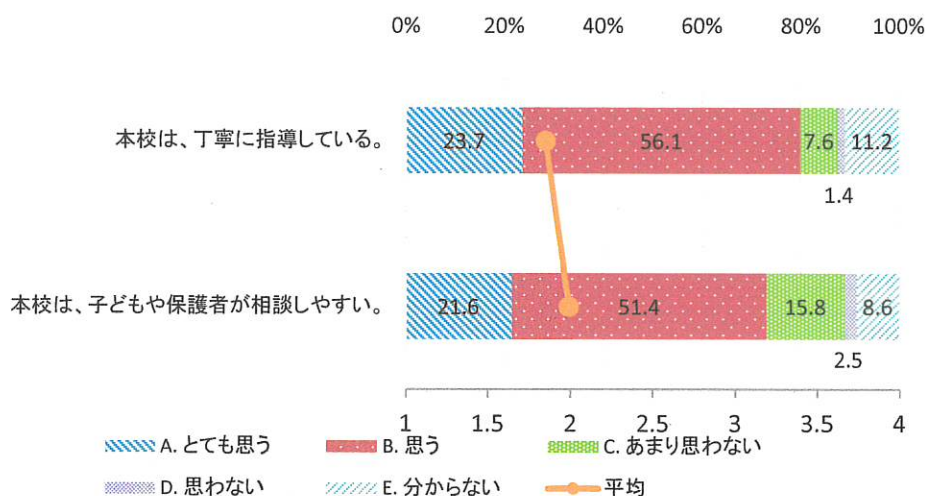
3. 学校行事(運動会、学芸会、学習発表会、宿泊行事など)について



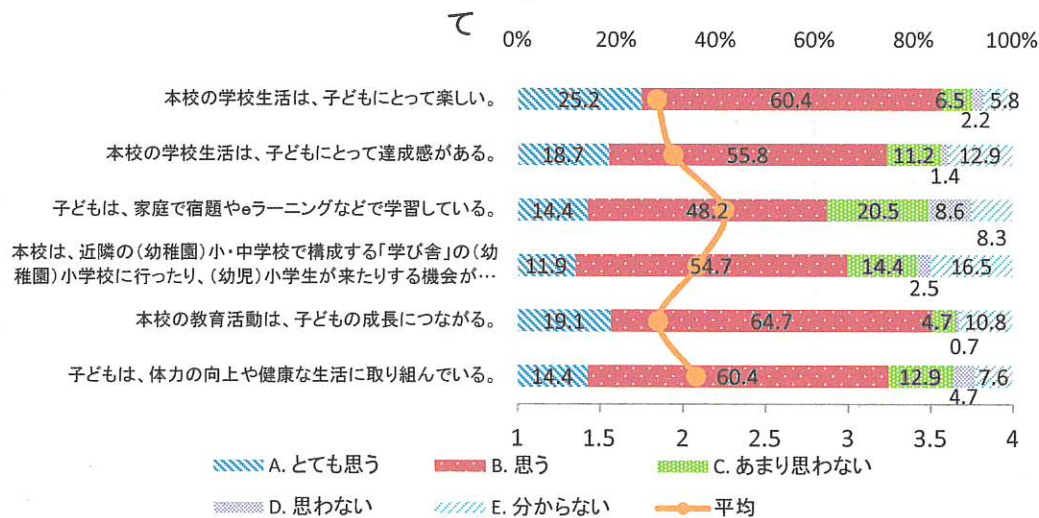
4. キャリア教育について



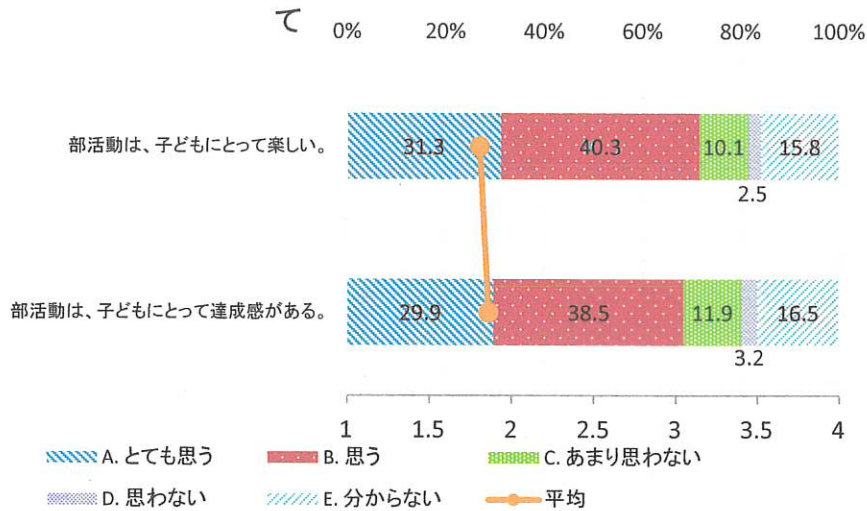
5. 教職員について



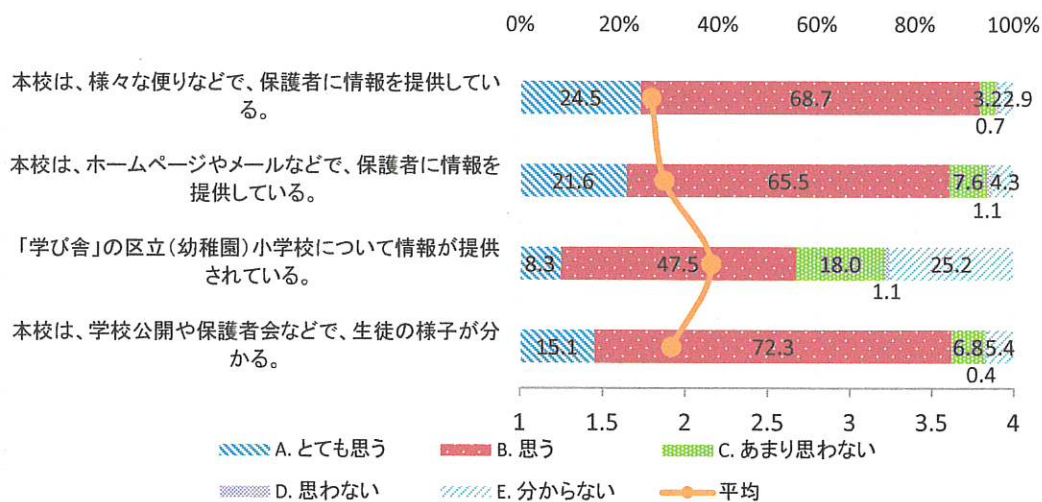
6. 全般について



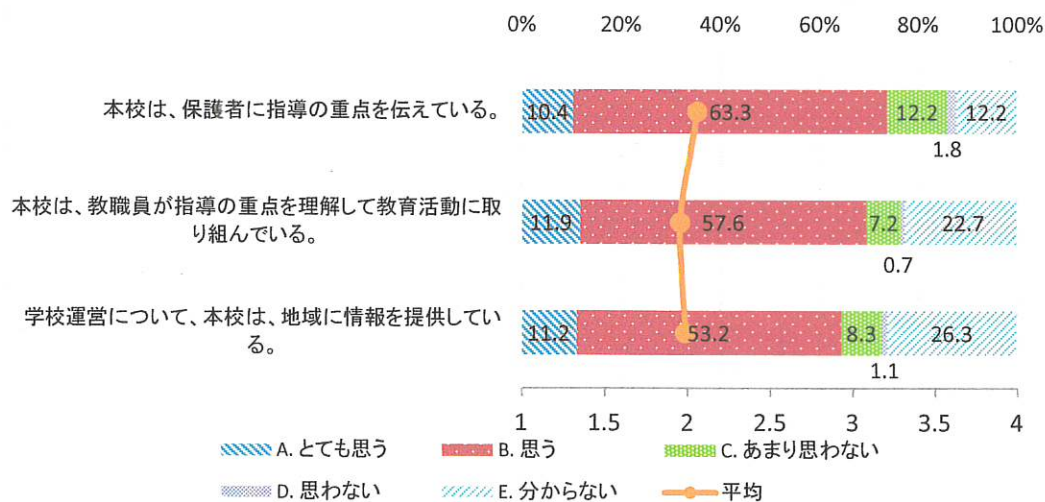
7. 部活動について



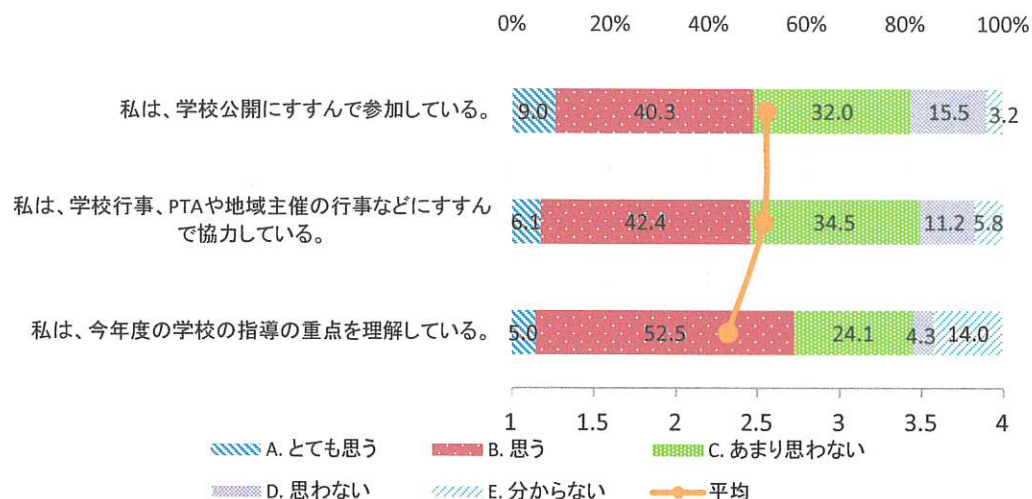
8. 学校からの情報提供について



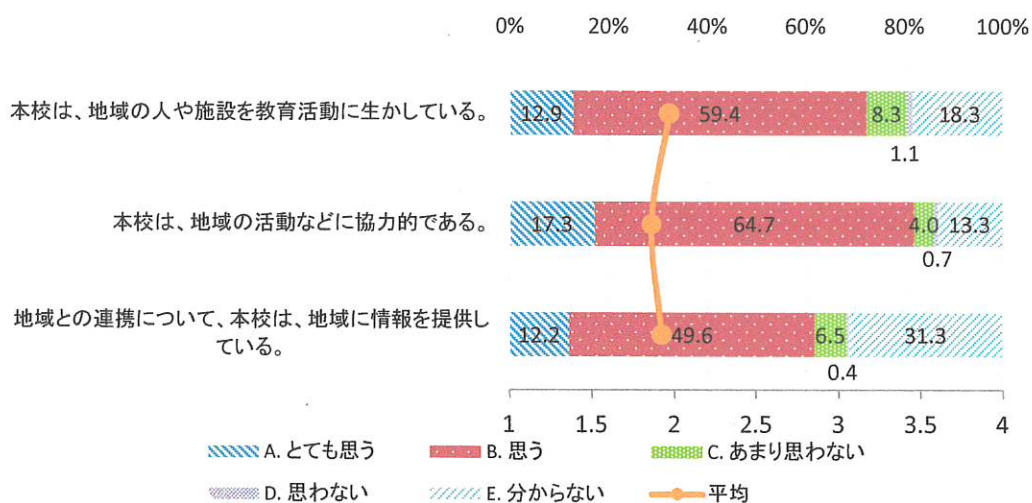
9. 学校運営について



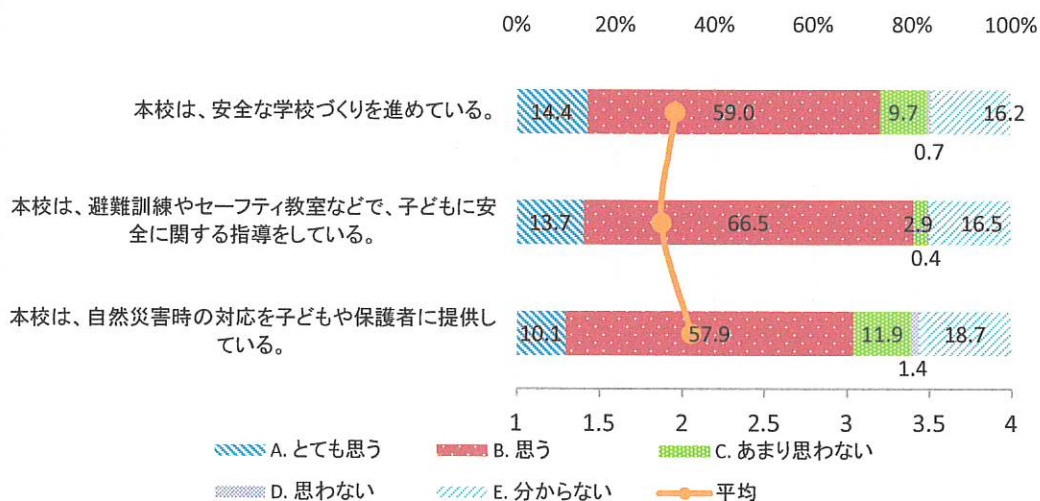
10. 家庭と学校との連携について



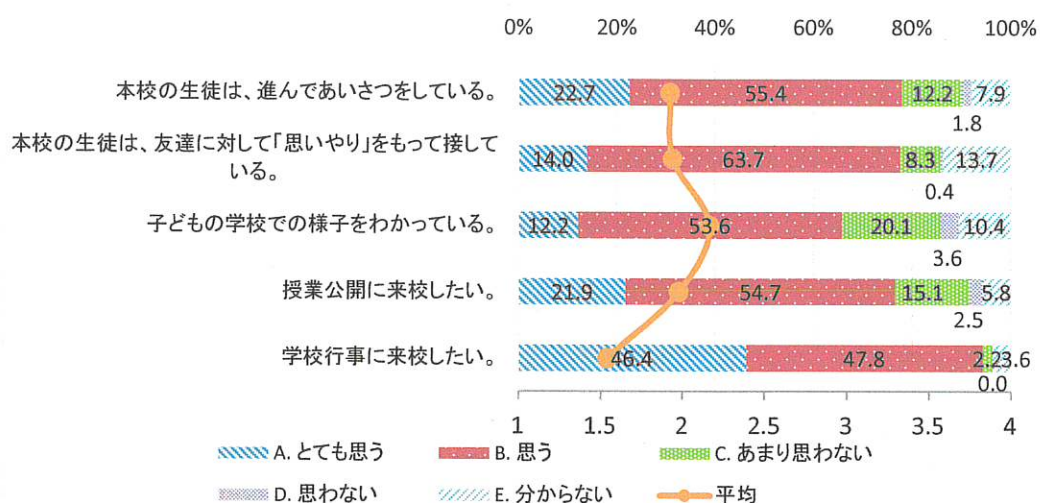
11. 地域との連携について



12. 学校の安全性について

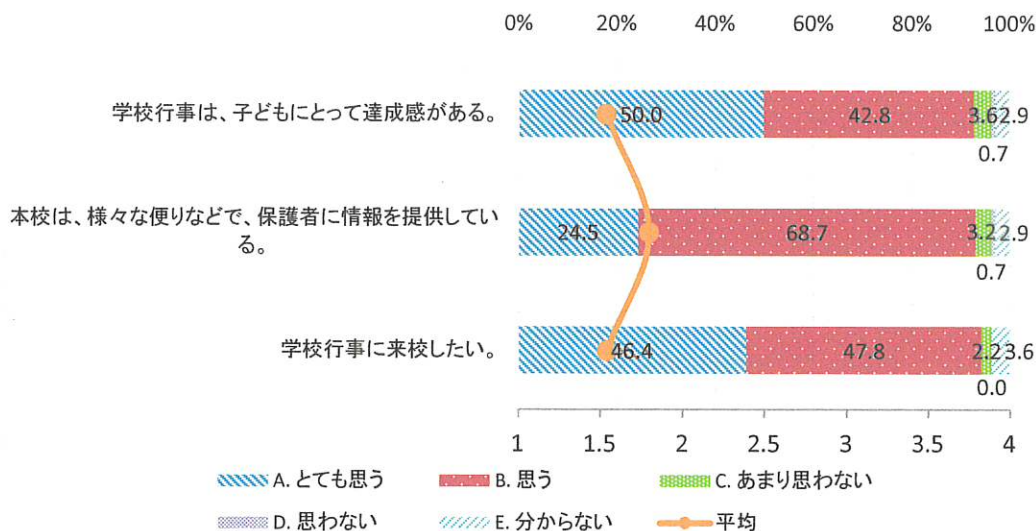


13. 学校独自項目について

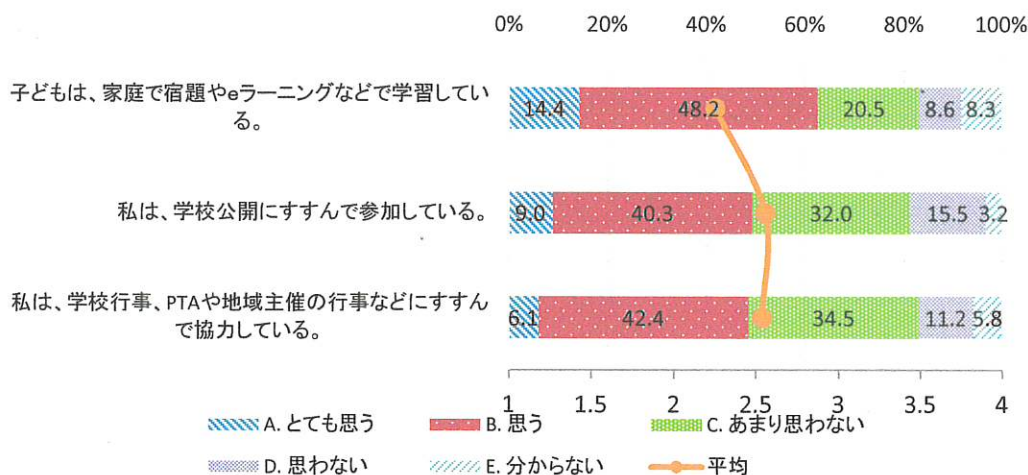


保護者

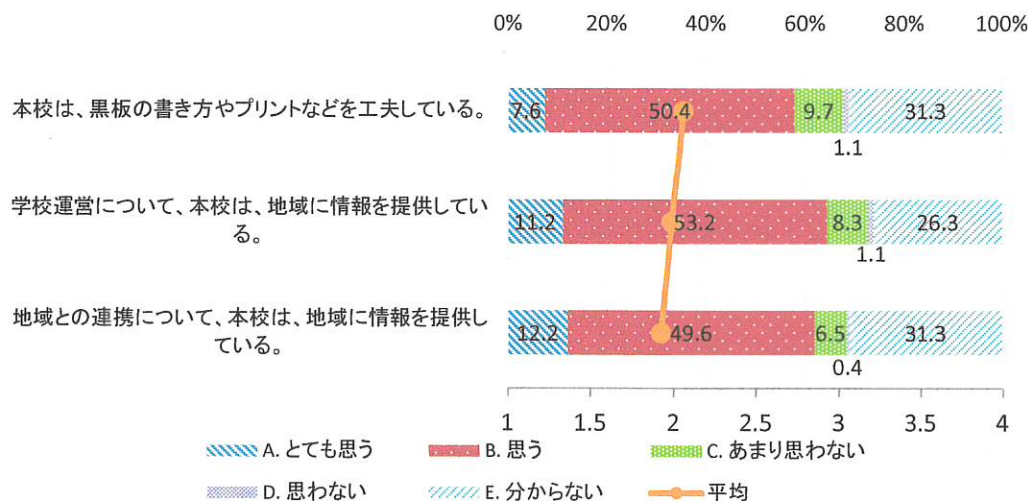
肯定的回答(「とても思う」「思う」)の多かった項目



否定的回答(「あまり思わない」「思わない」)の多かった項目

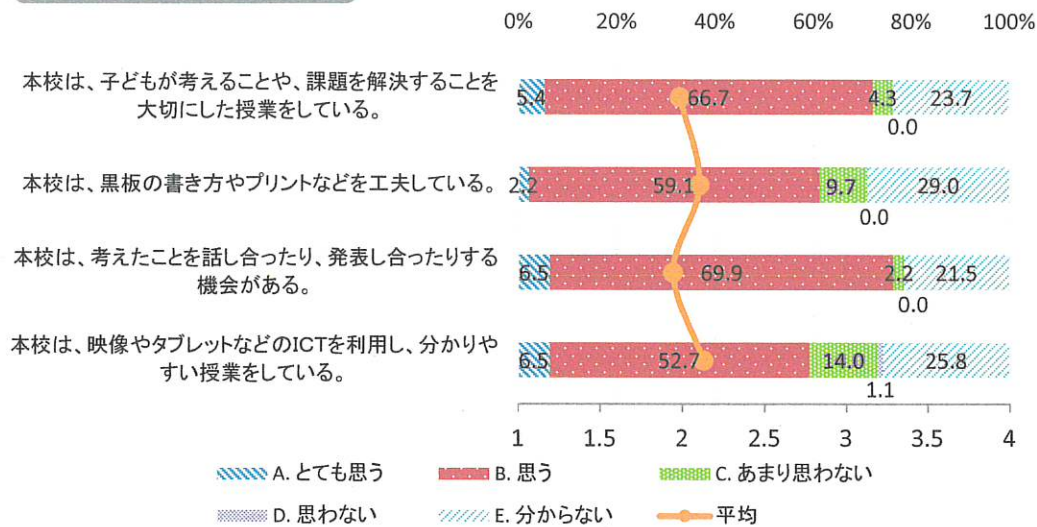


「わからない」という回答の多かった項目

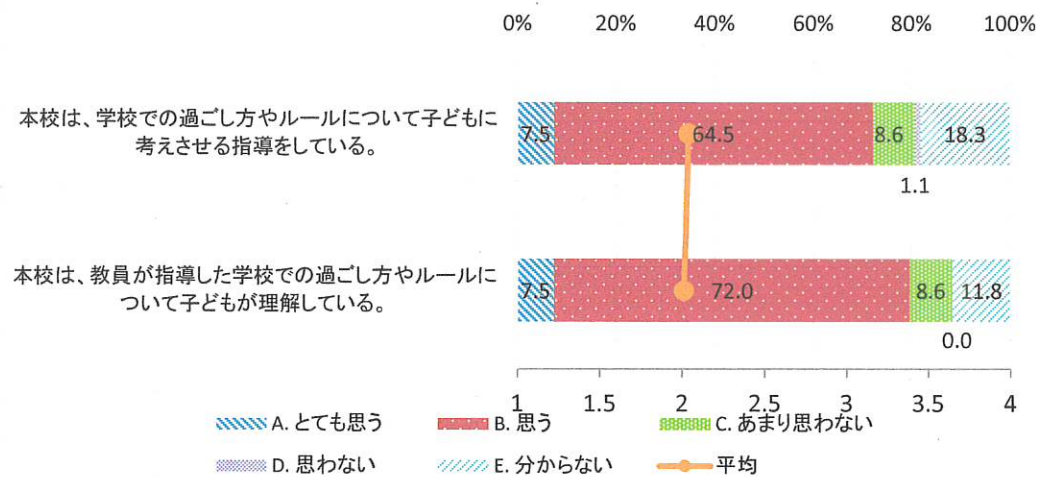


保護者 1年生

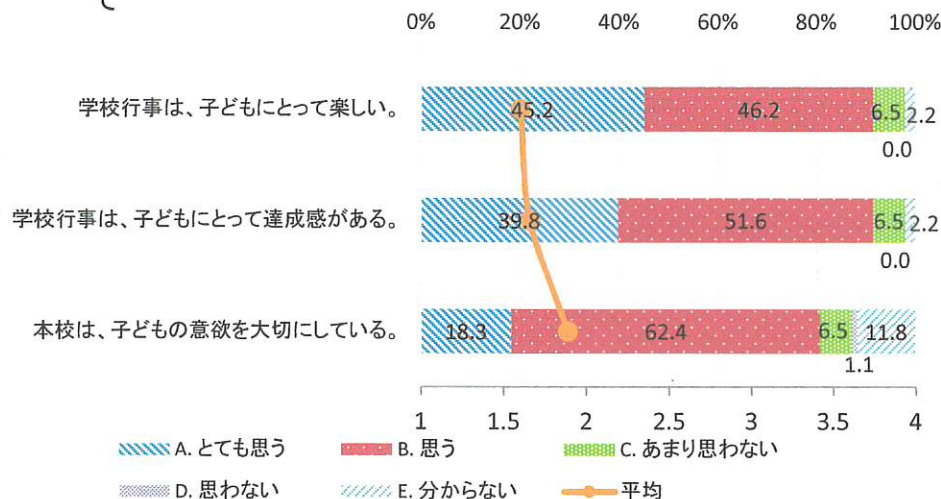
1. 学習指導について



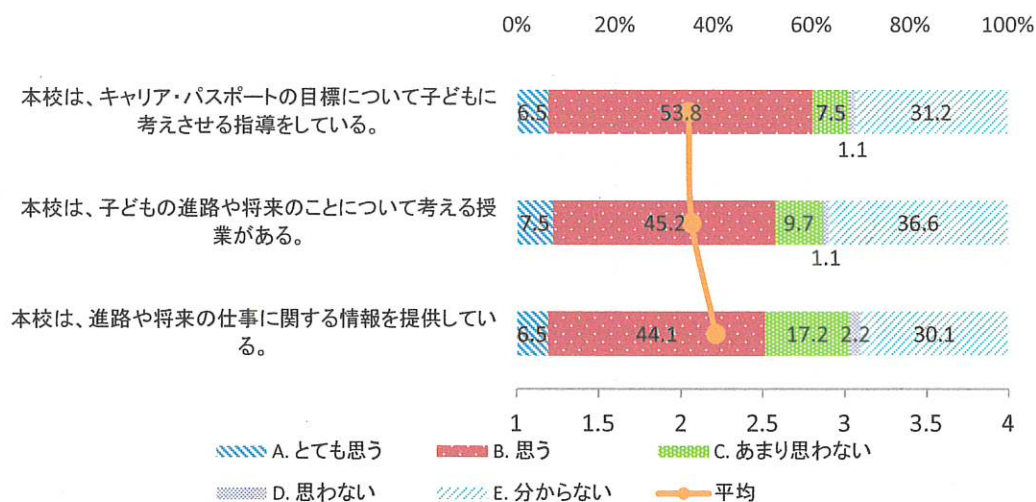
2. 生活指導について



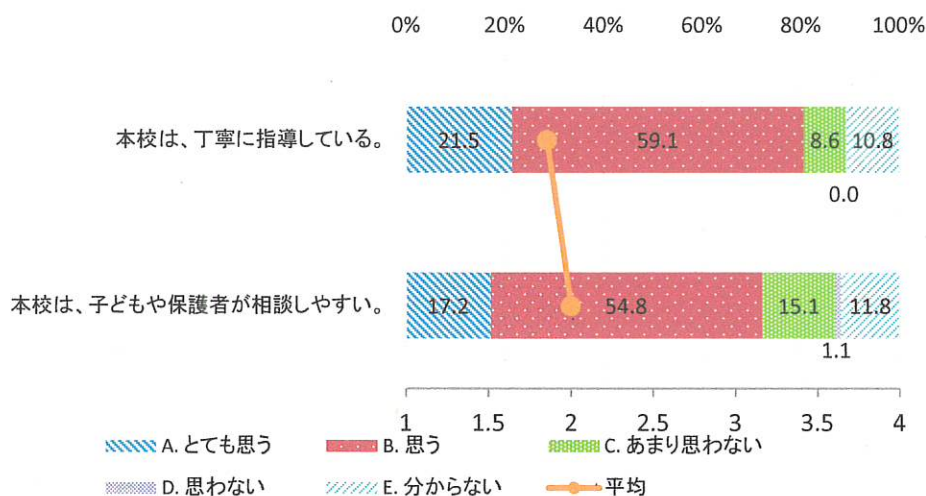
3. 学校行事(運動会、学芸会、学習発表会、宿泊行事など)について



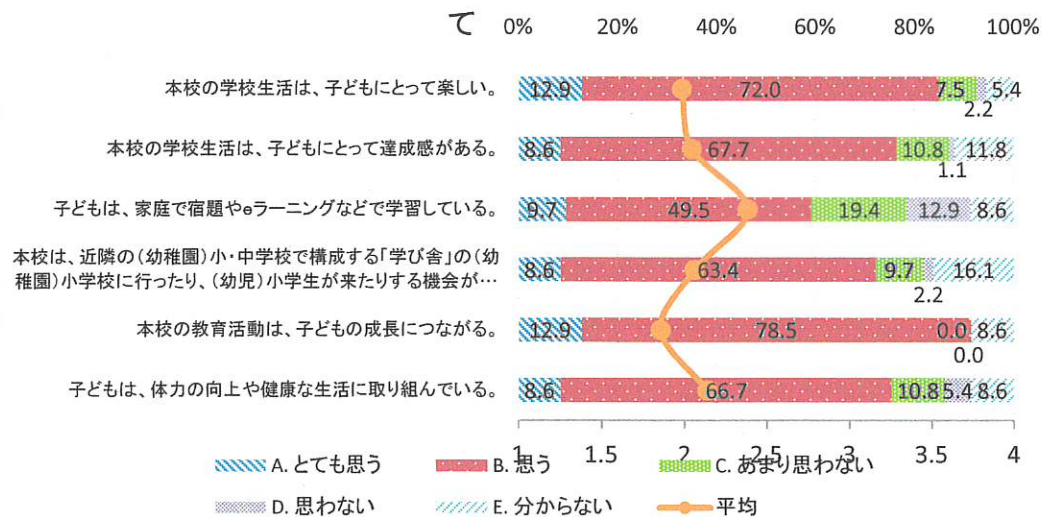
4. キャリア教育について



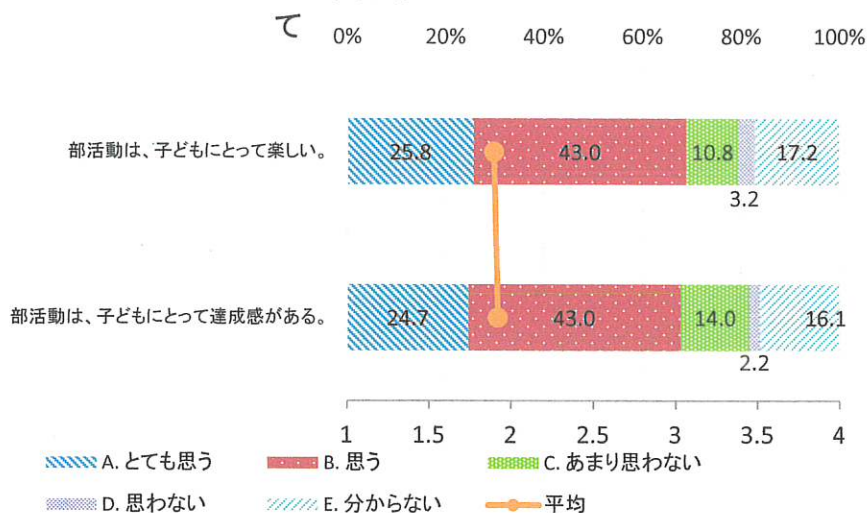
5. 教職員について



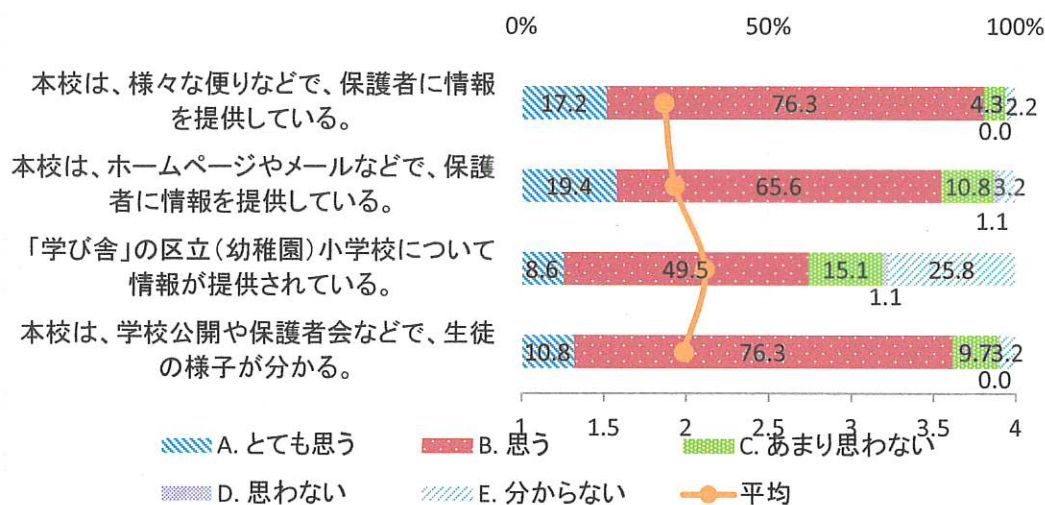
6. 全般について



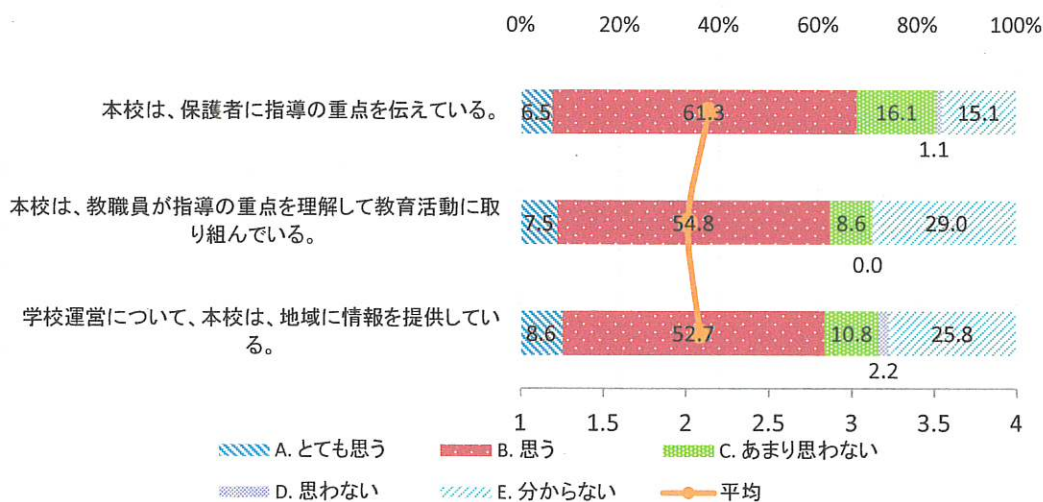
7. 部活動について



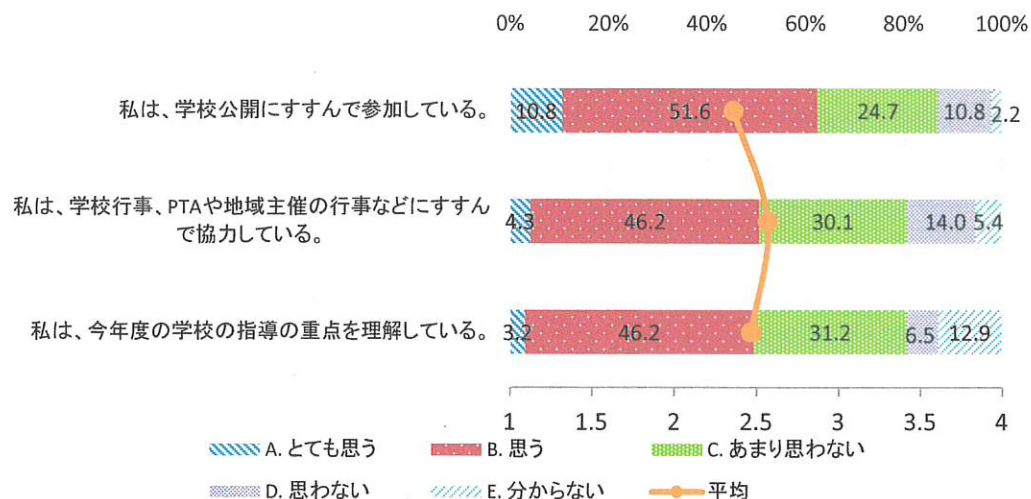
8. 学校からの情報提供について



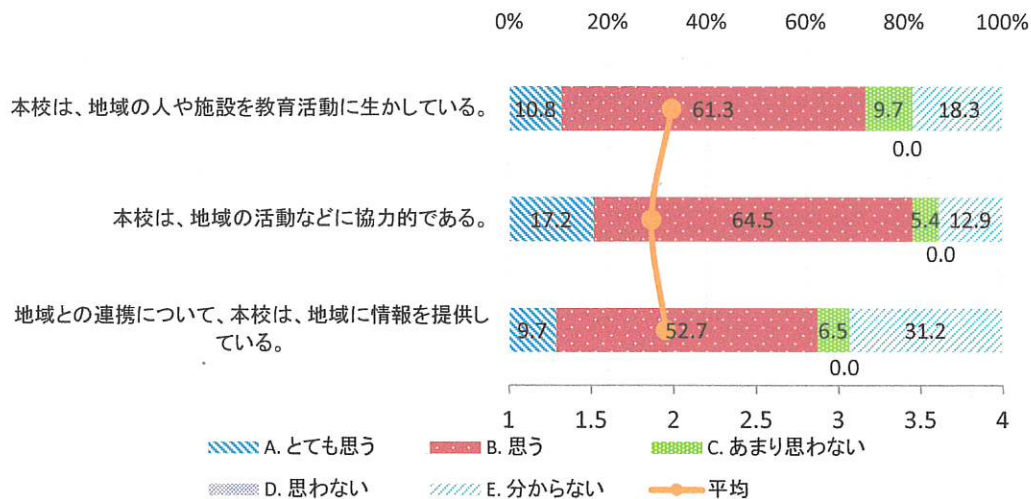
9. 学校運営について



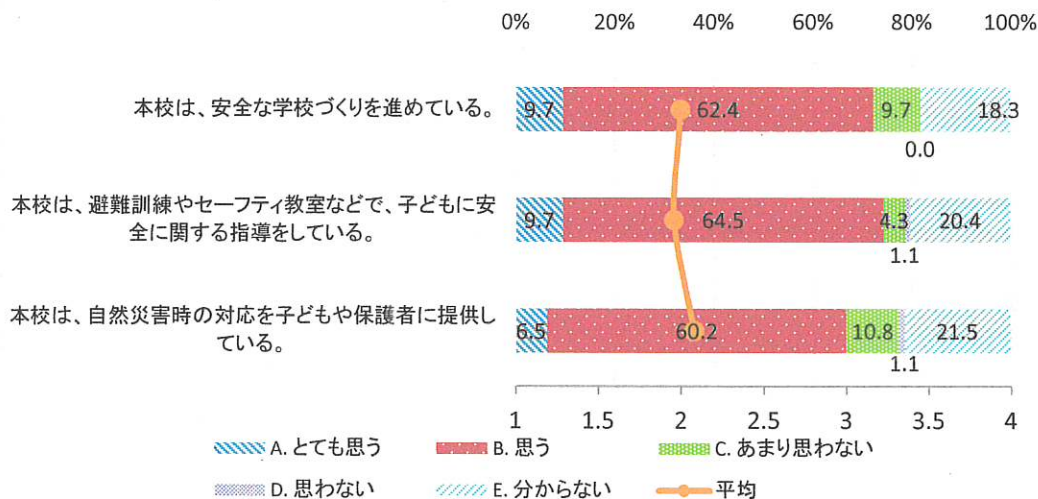
10. 家庭と学校との連携について



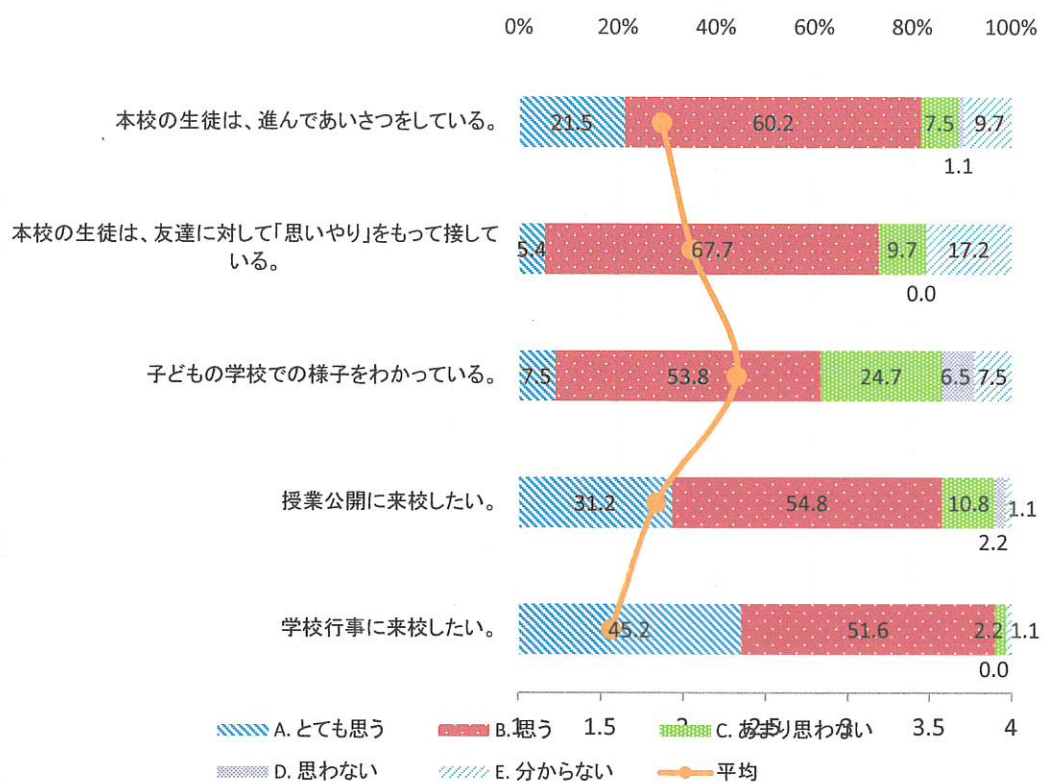
11. 地域との連携について



12. 学校の安全性について

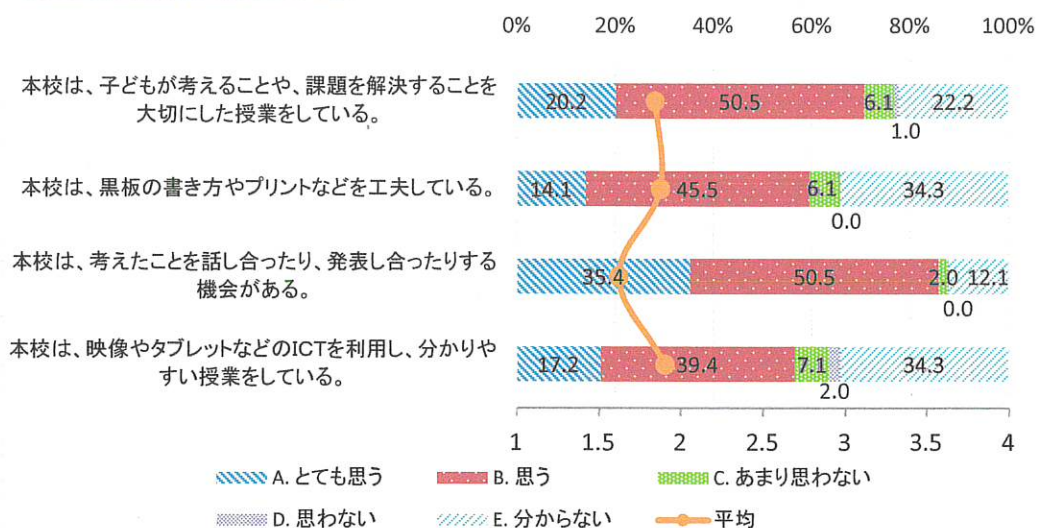


13. 学校独自項目について

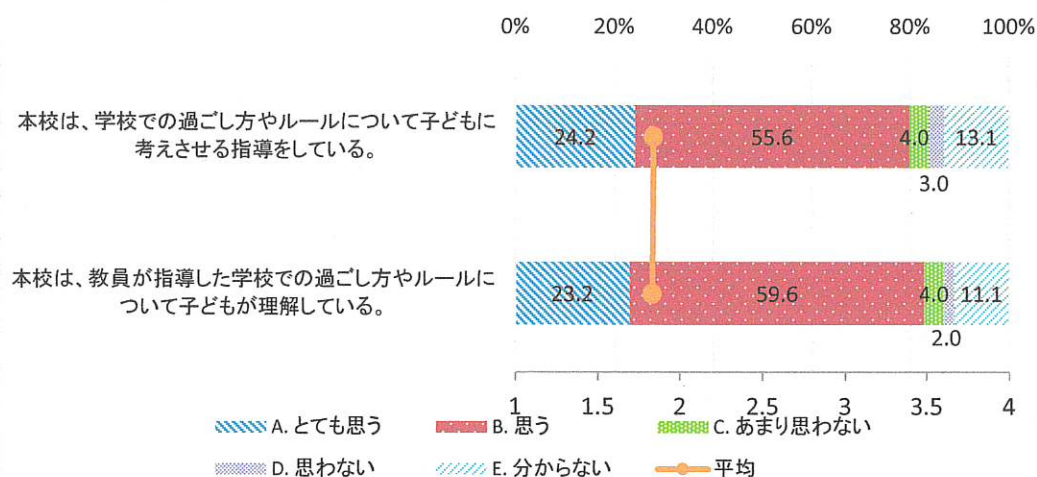


保護者 2年生

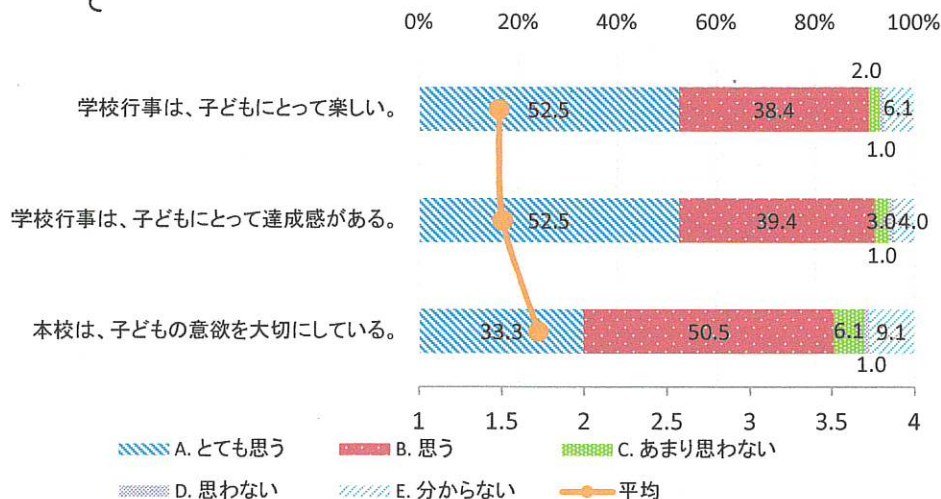
1. 学習指導について



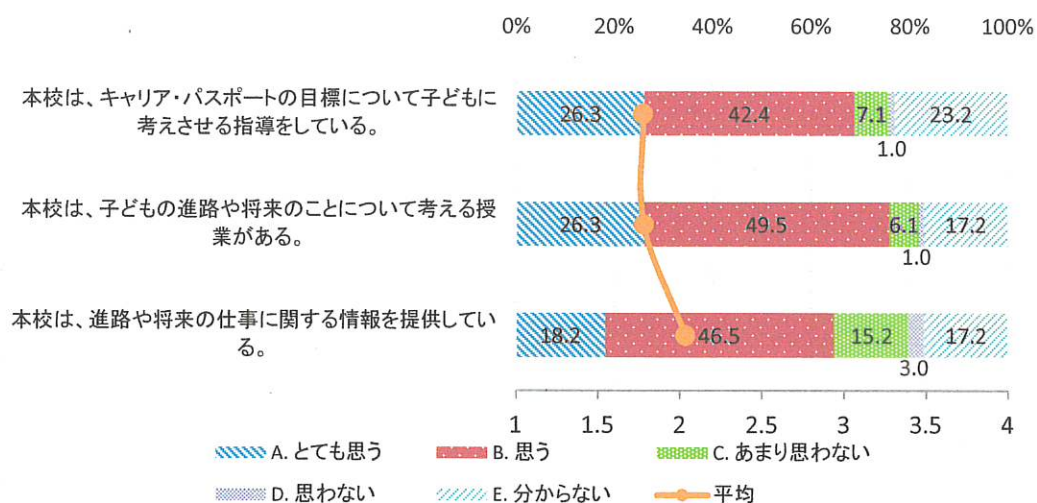
2. 生活指導について



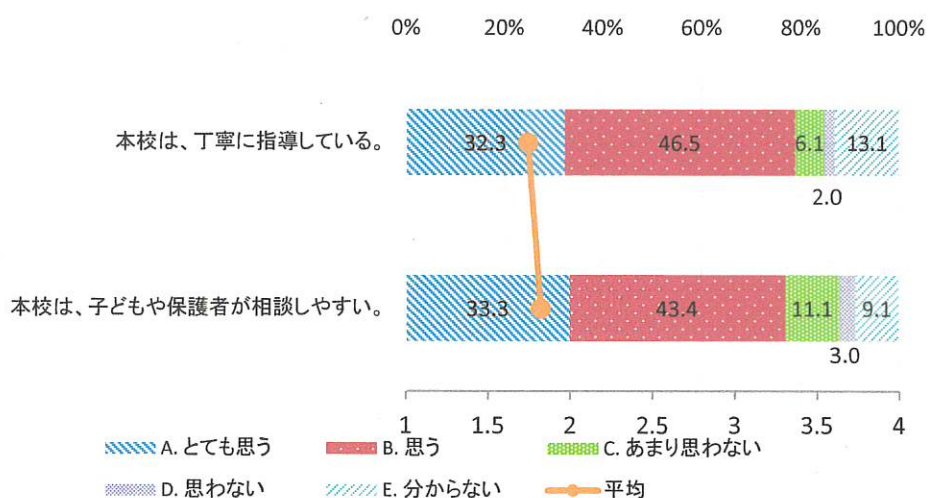
3. 学校行事(運動会、学芸会、学習発表会、宿泊行事など)について



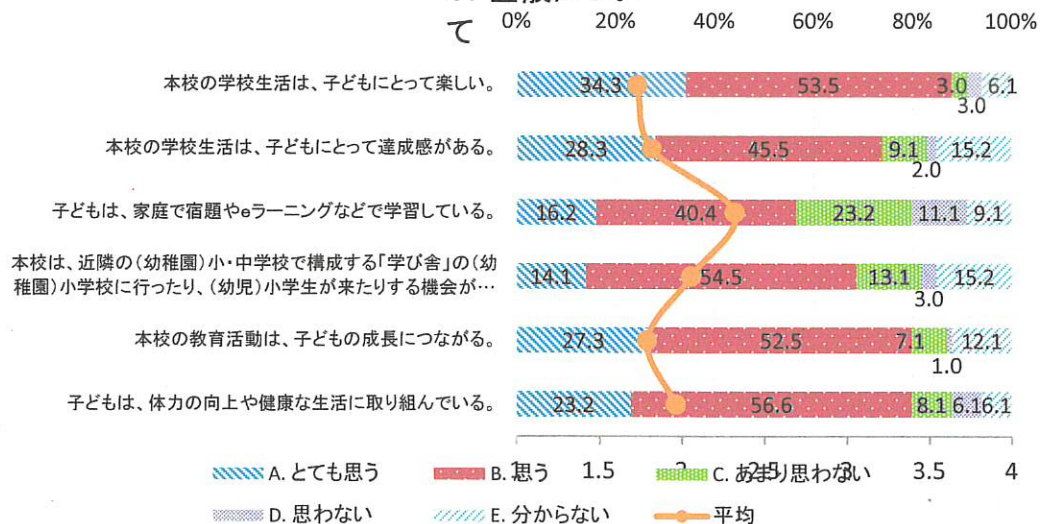
4. キャリア教育について



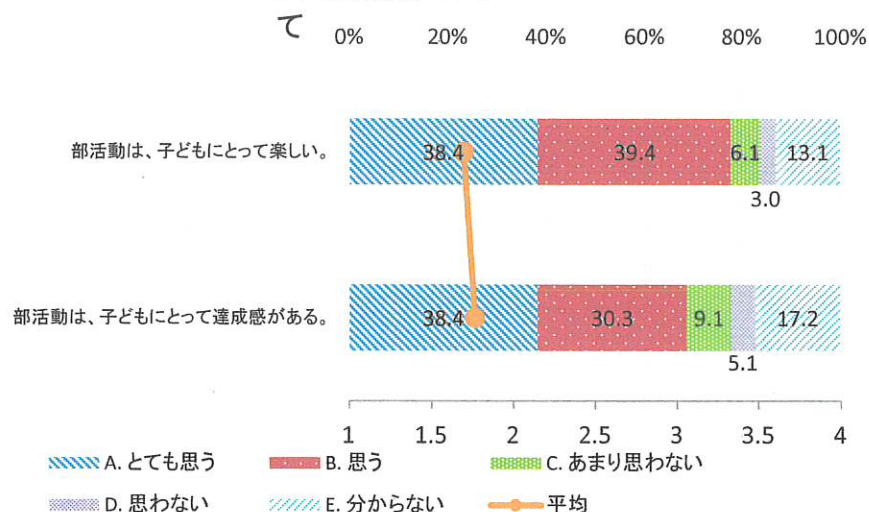
5. 教職員について



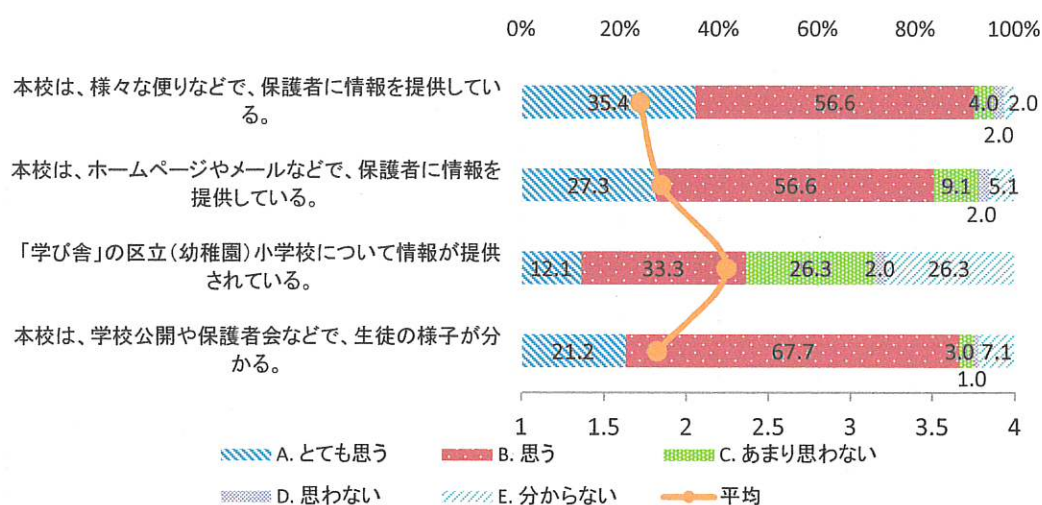
6. 全般について



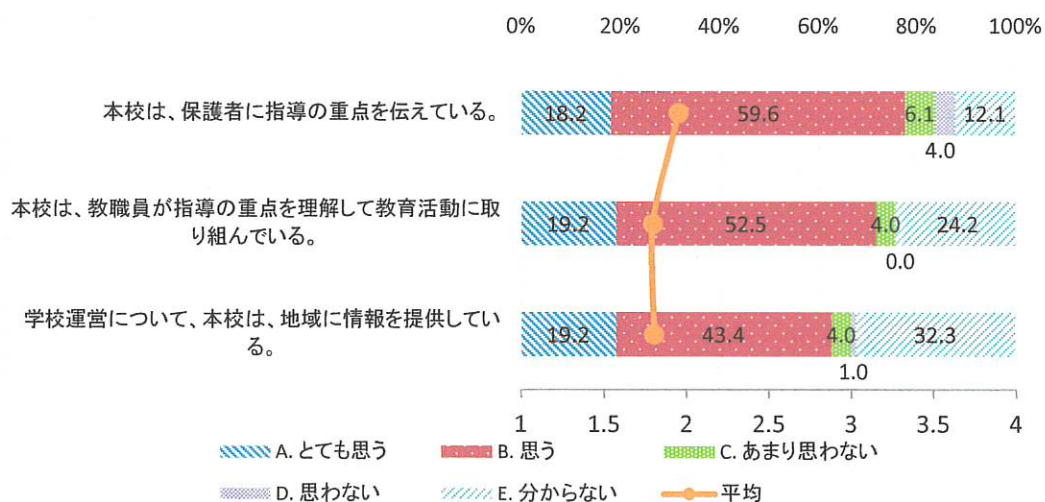
7. 部活動について



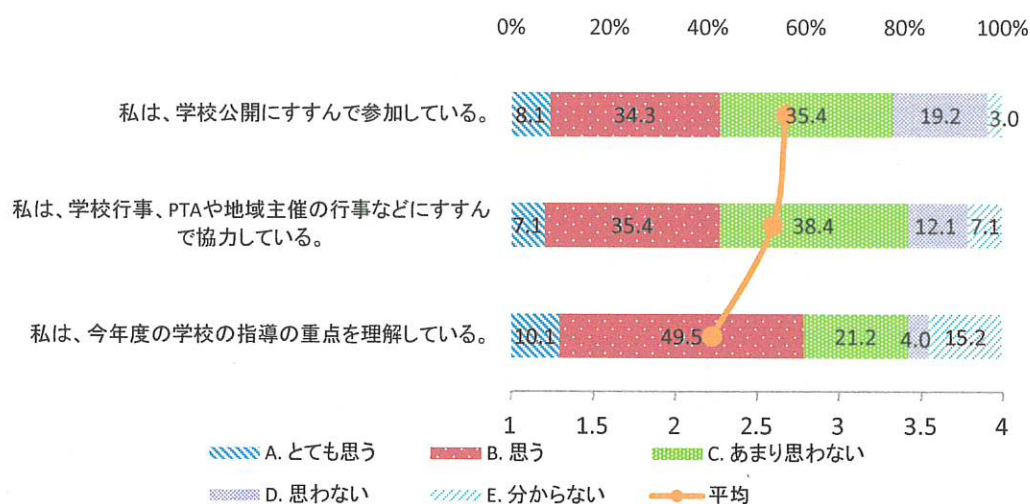
8. 学校からの情報提供について



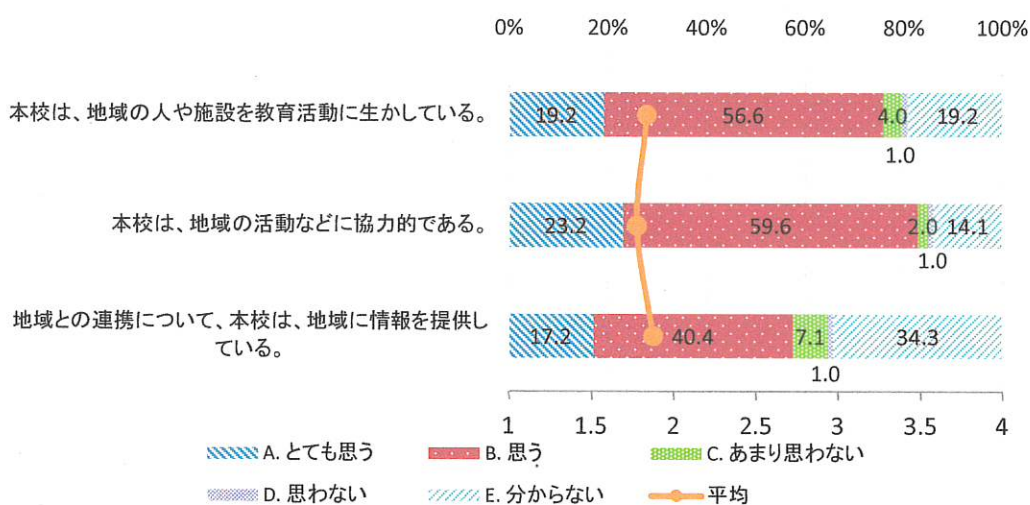
9. 学校運営について



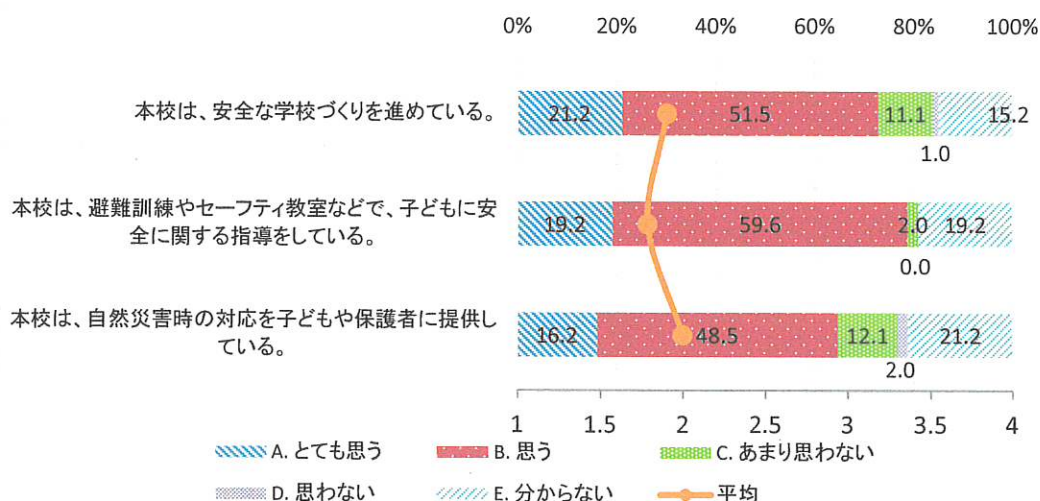
10. 家庭と学校との連携について



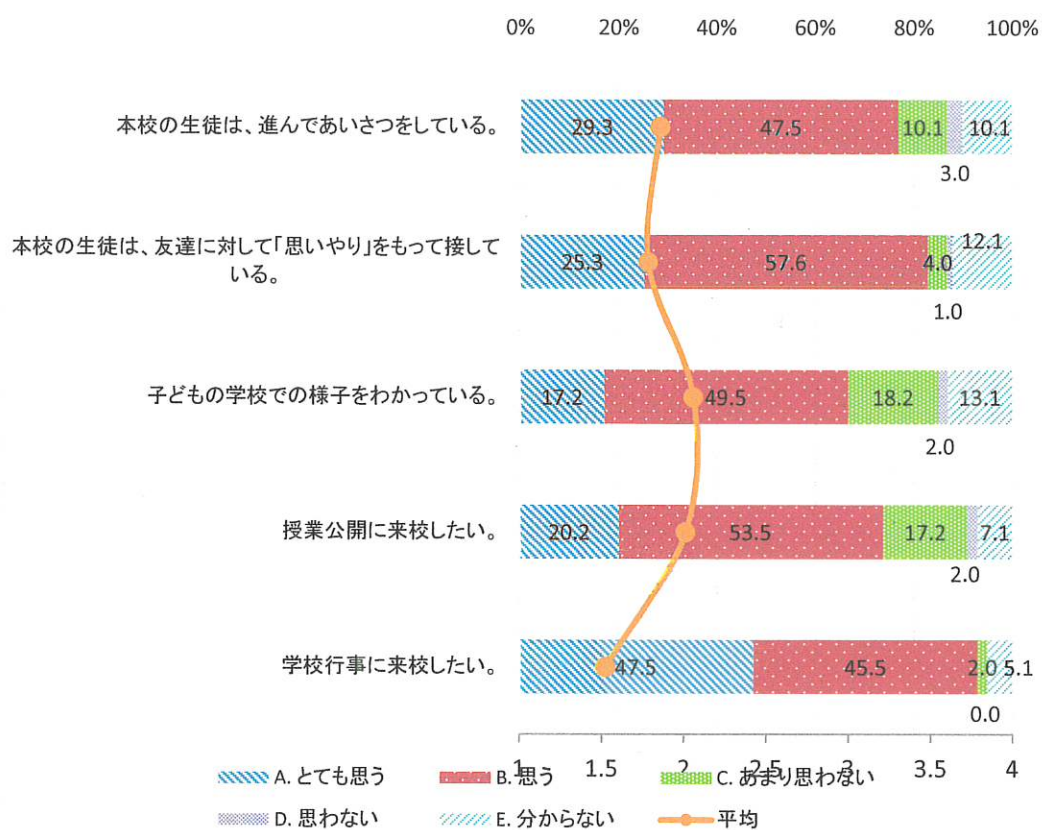
11. 地域との連携について



12. 学校の安全性について

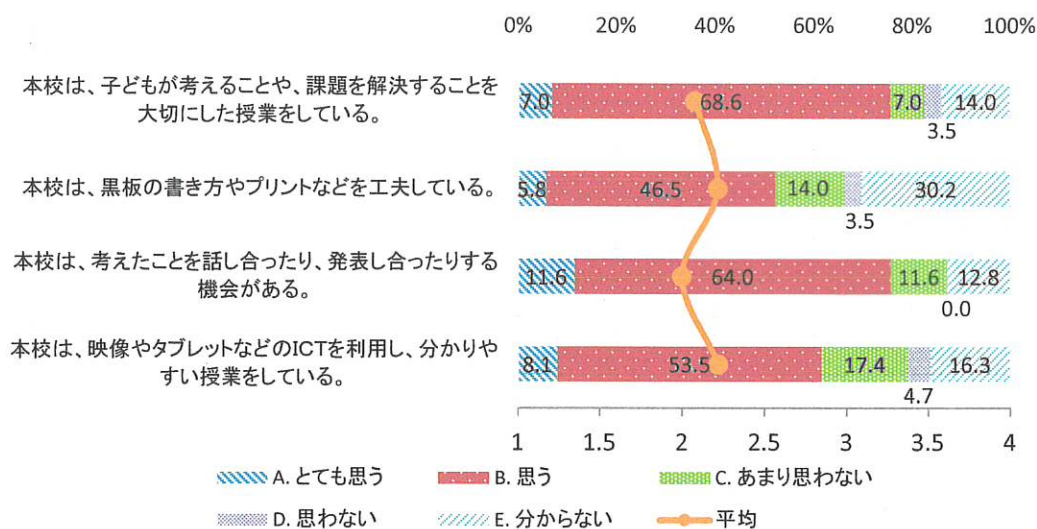


13. 学校独自項目について

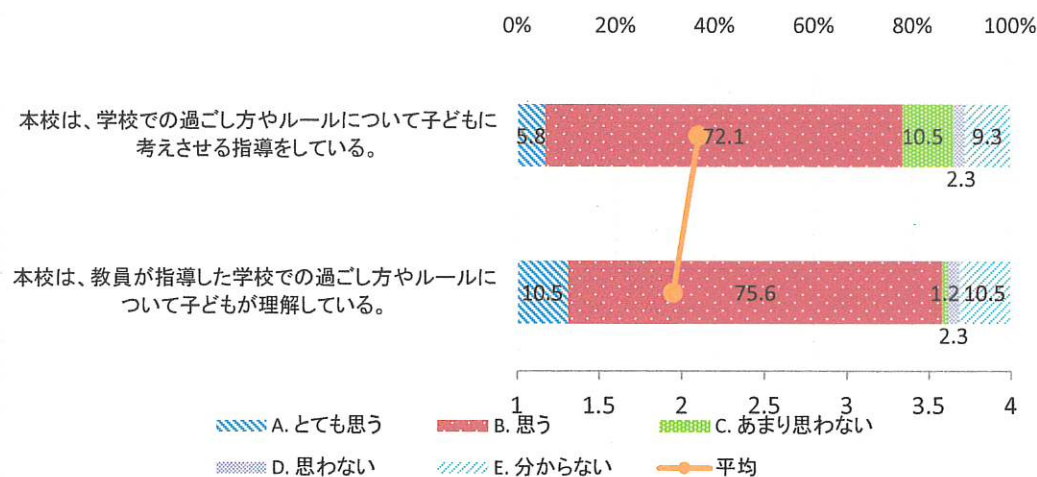


保護者 3年生

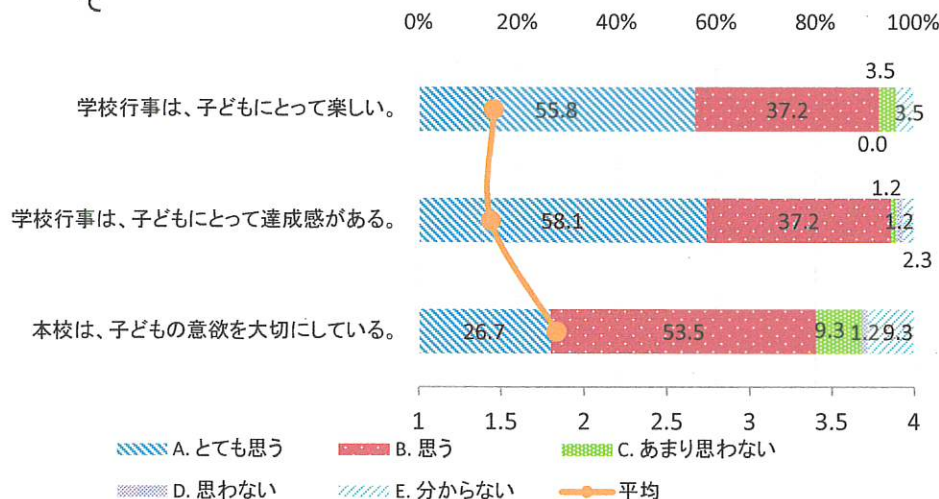
1. 学習指導について



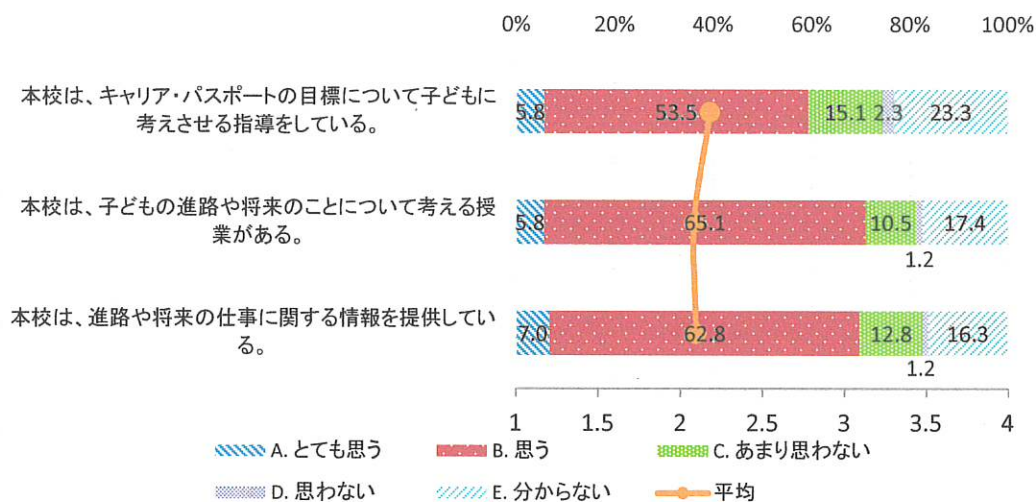
2. 生活指導について



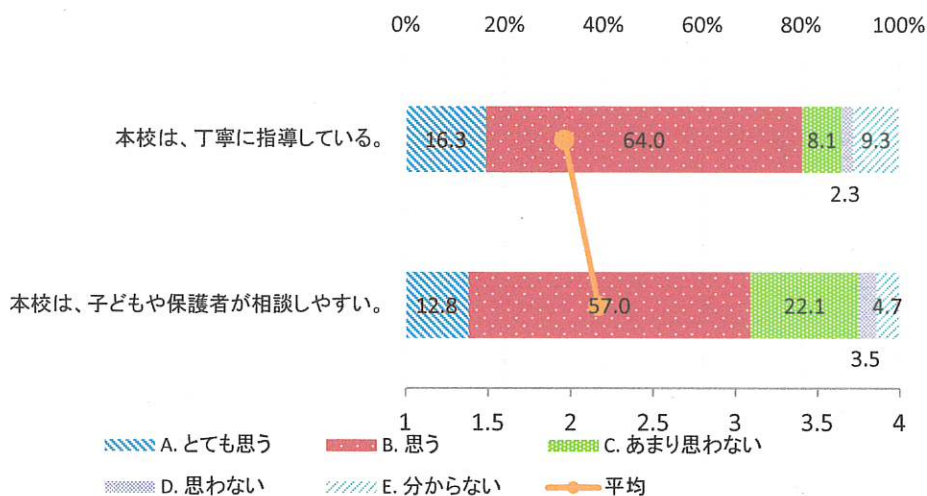
3. 学校行事(運動会、学芸会、学習発表会、宿泊行事など)について



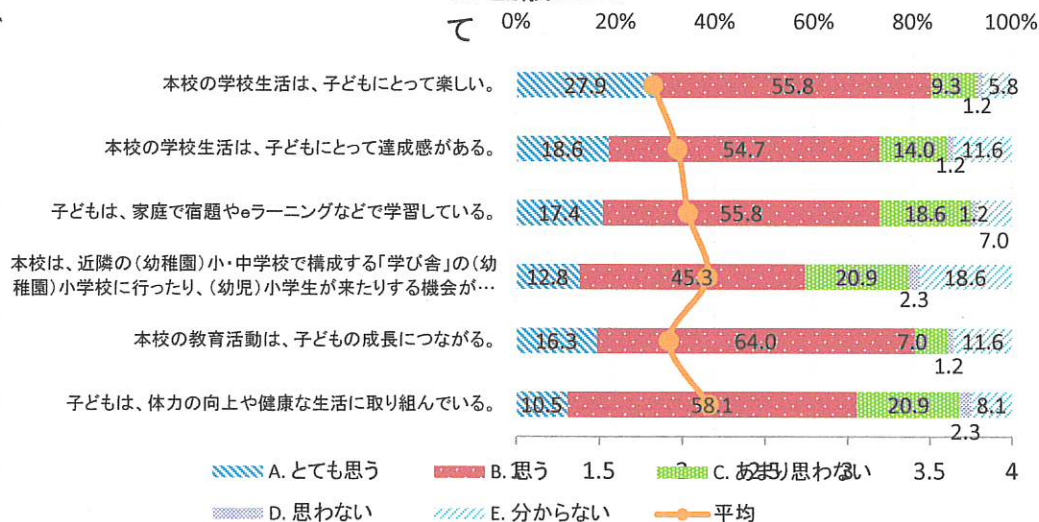
4. キャリア教育について



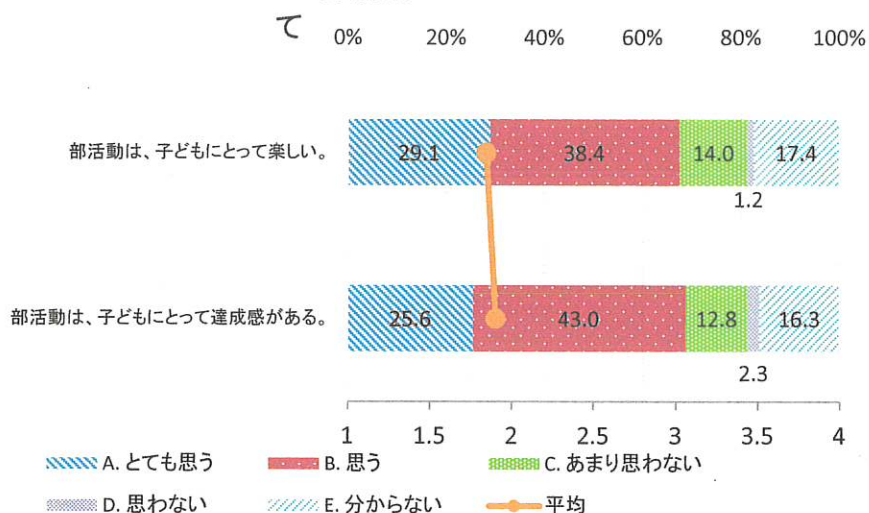
5. 教職員について



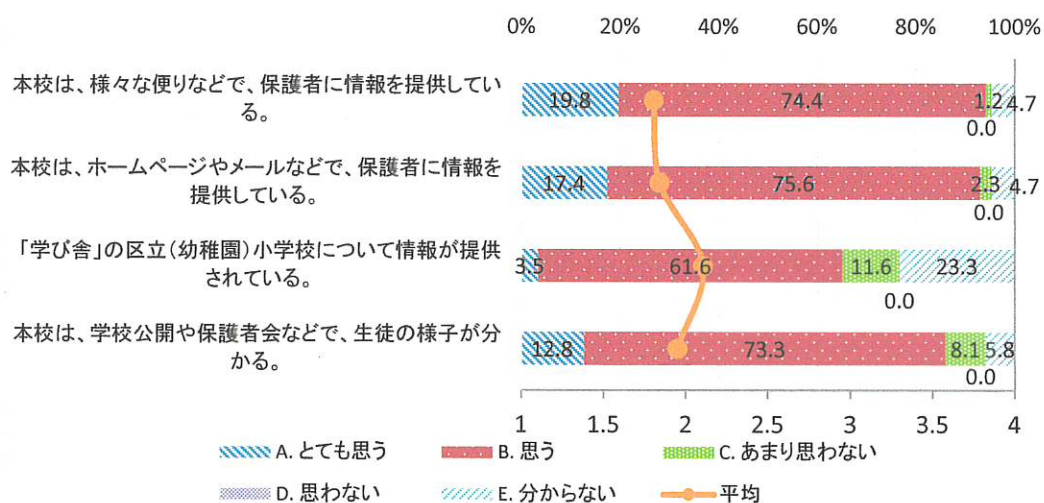
6. 全般について



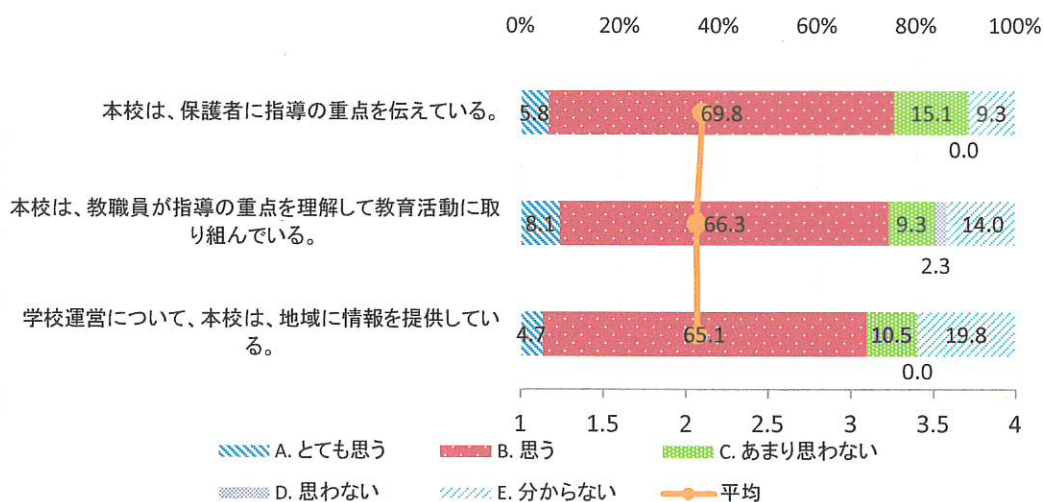
7. 部活動について



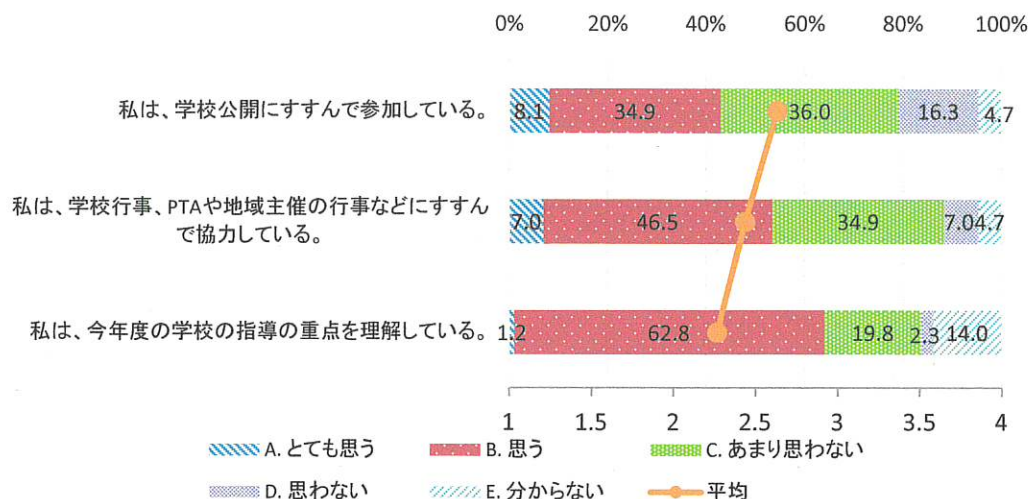
8. 学校からの情報提供について



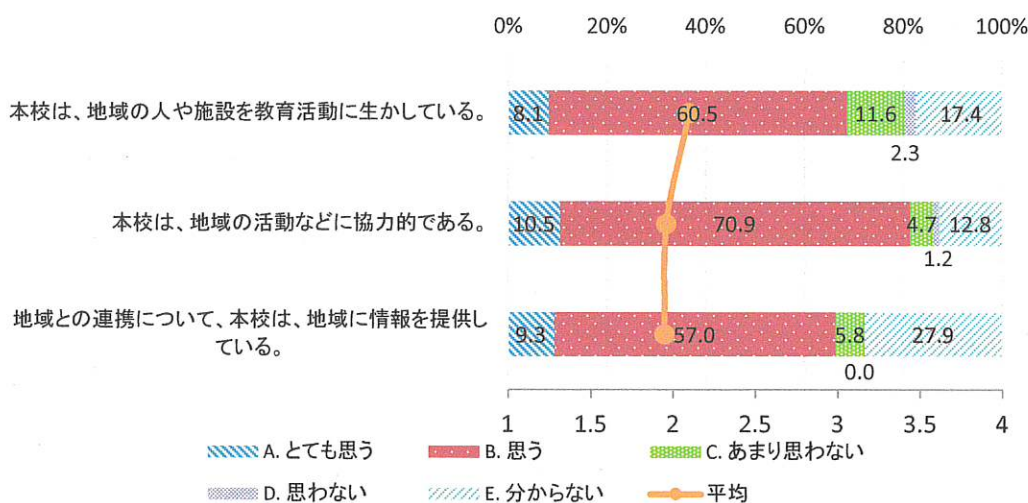
9. 学校運営について



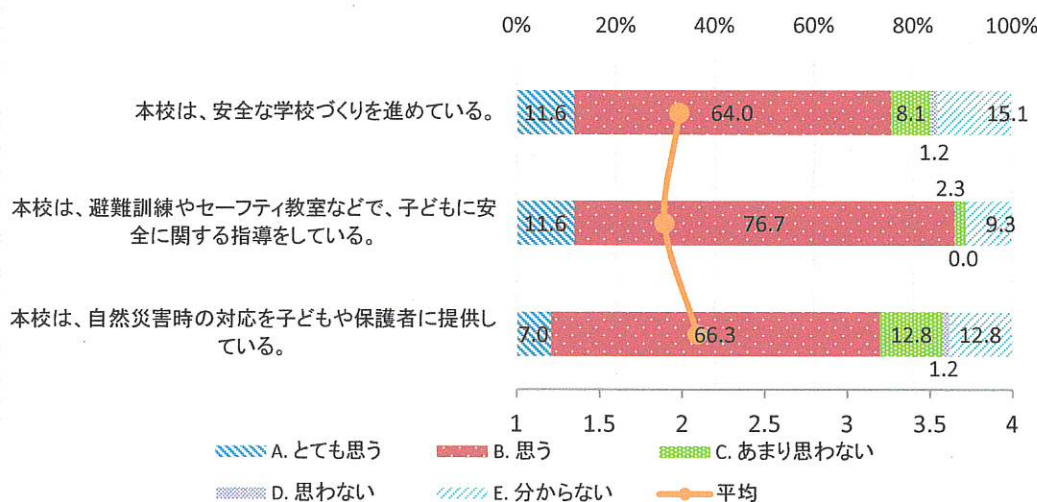
10. 家庭と学校との連携について



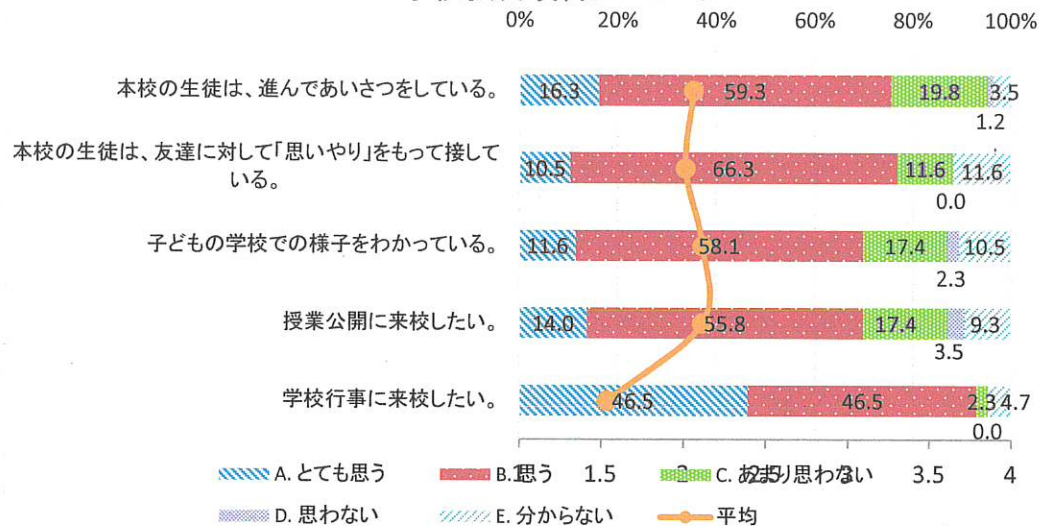
11. 地域との連携について



12. 学校の安全性について

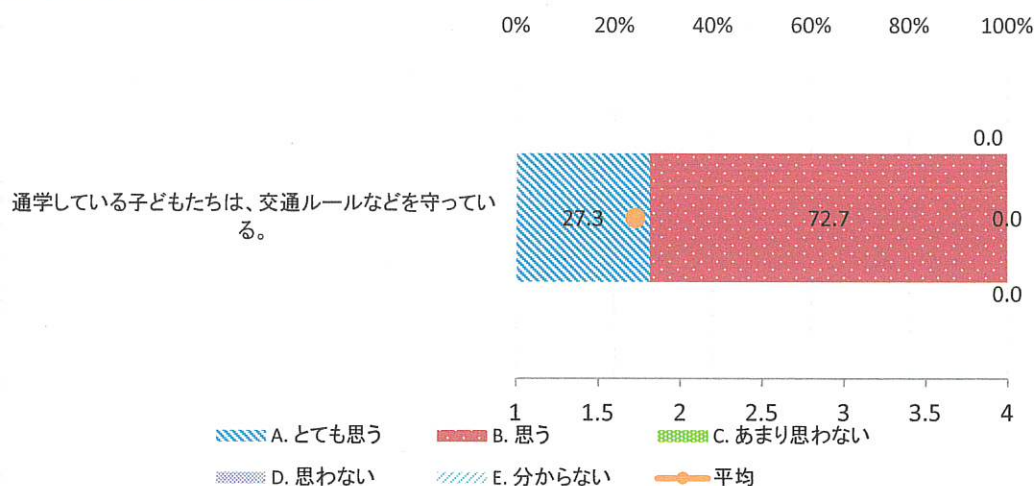


13. 学校独自項目について

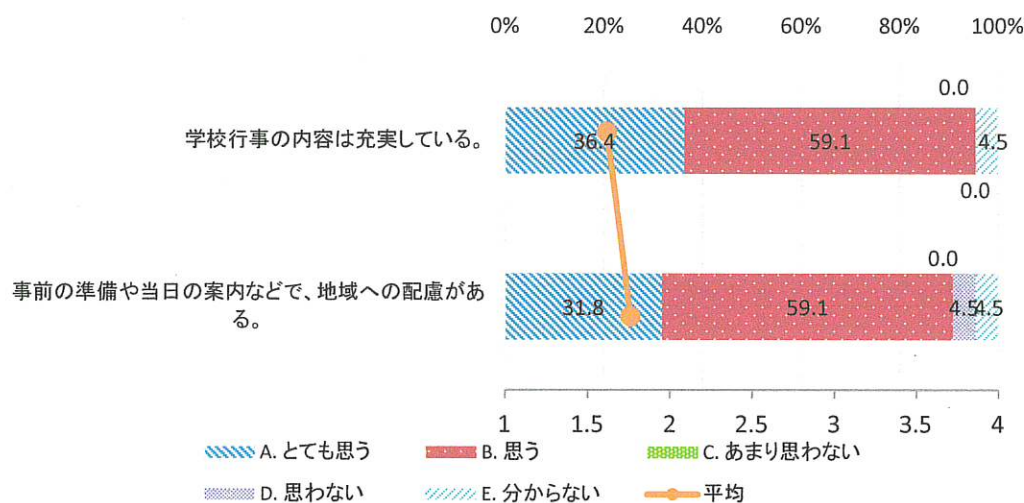


地 域

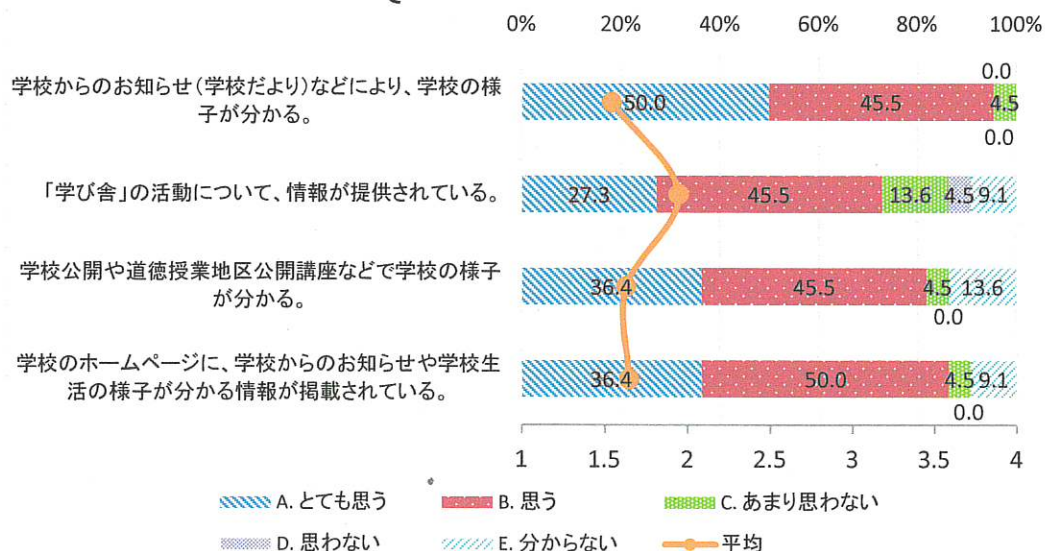
1. 生活指導について



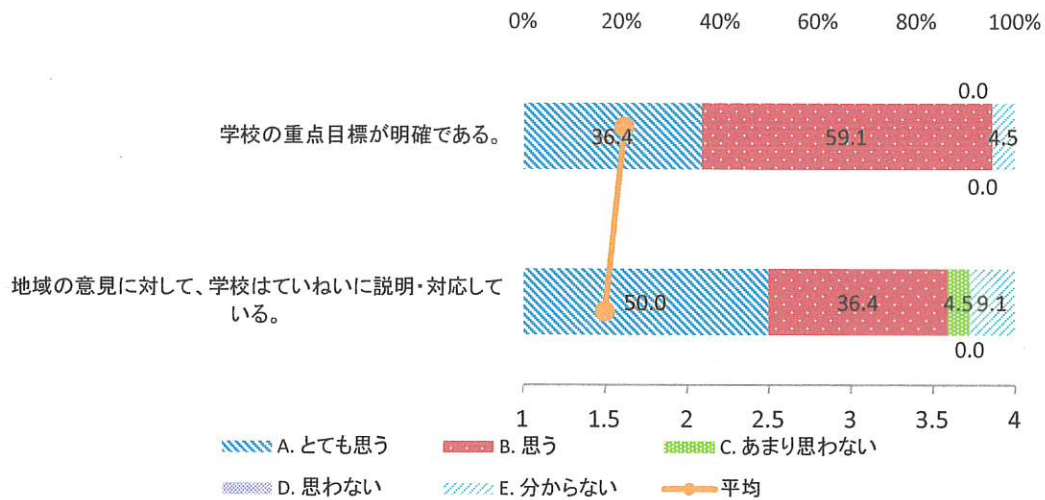
2. 学校行事(運動会・学芸会、学習発表会、宿泊行事など)について



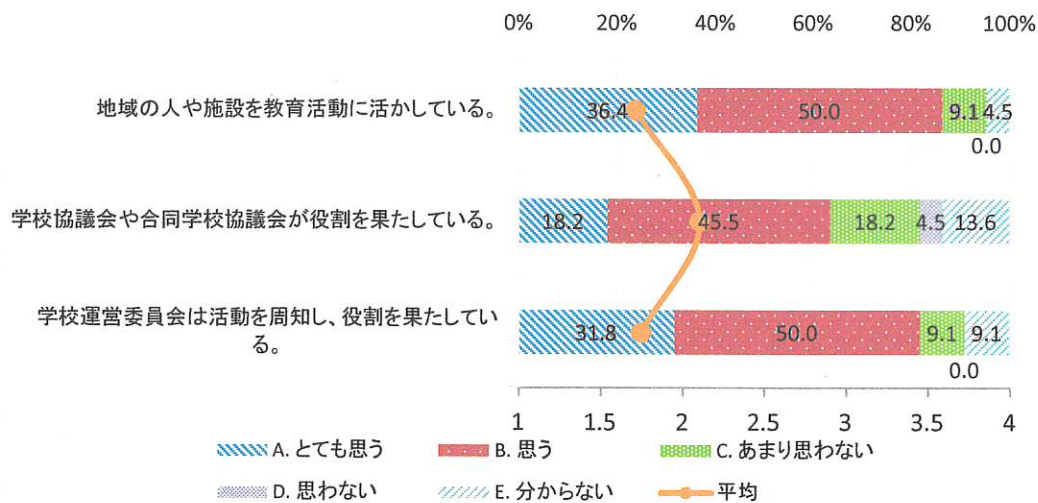
3. 学校からの情報提供について



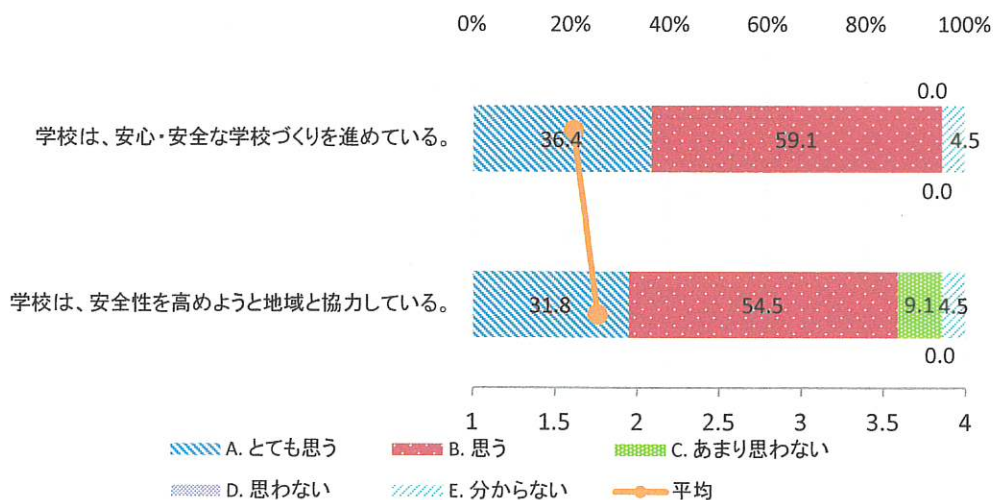
4. キャリア教育について



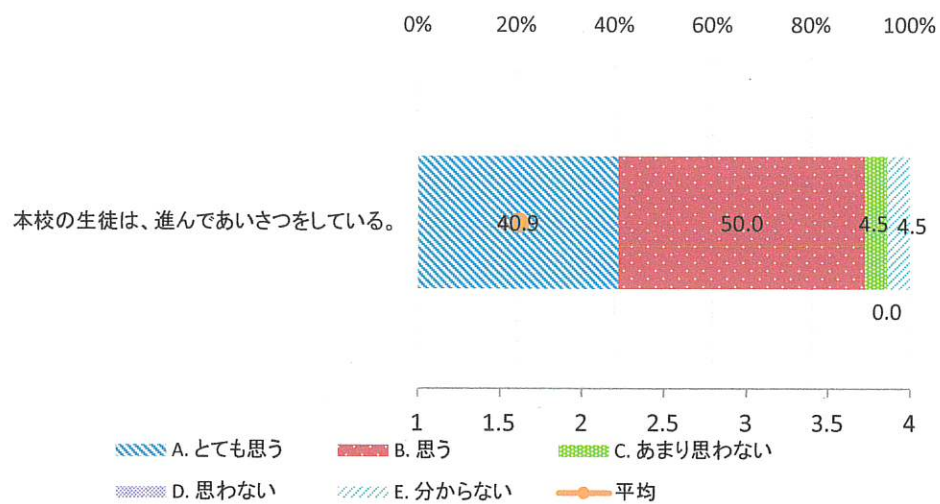
5. 地域との連携について



6. 学校の安全性について

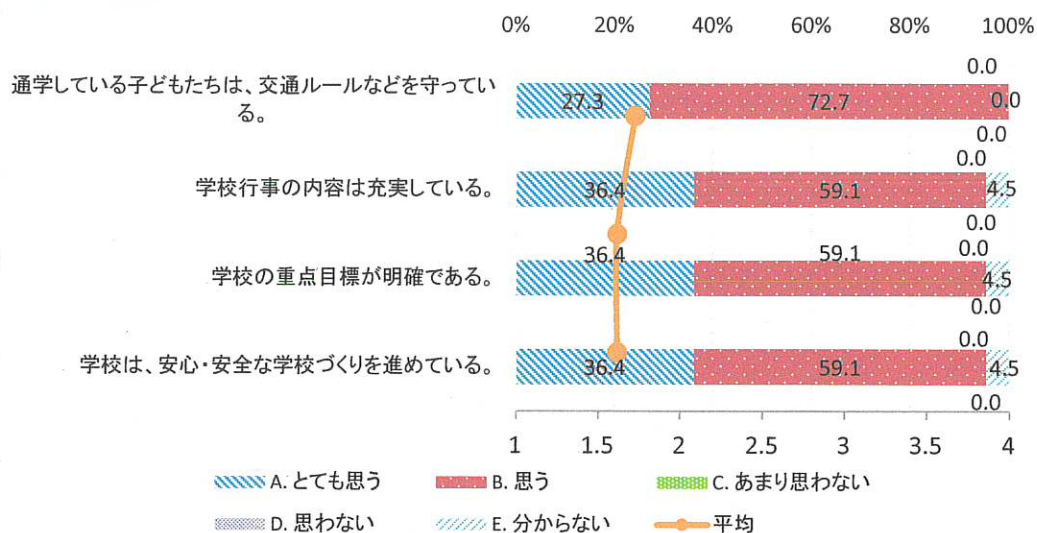


7. 学校独自項目について

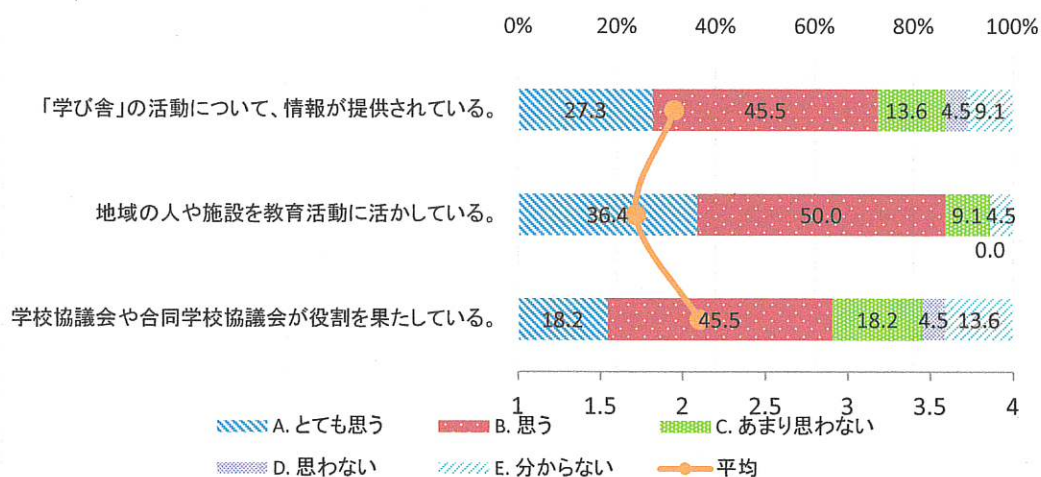


地 域

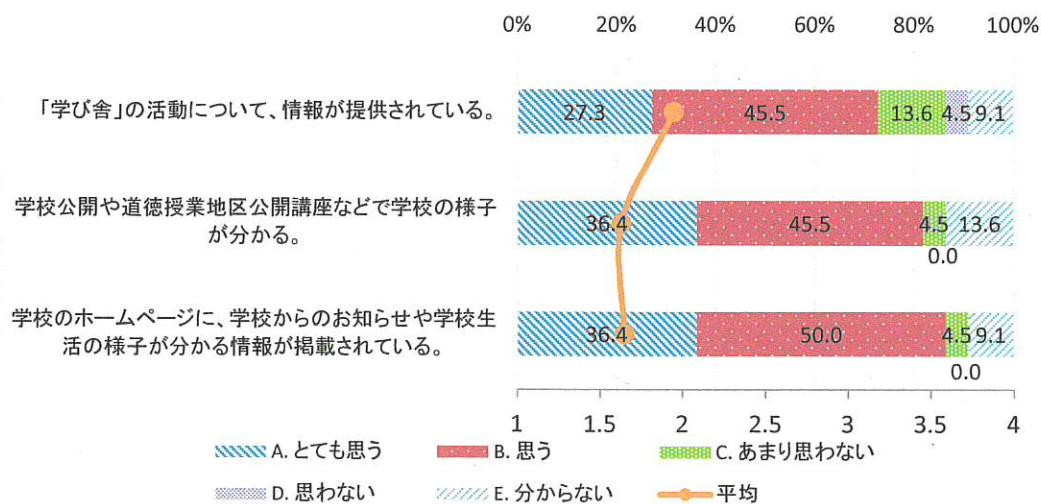
肯定的回答(「とても思う」「思う」)の多かった項目



否定的回答(「あまり思わない」「思わない」)の多かった項目

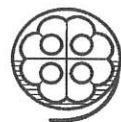


「わからない」という回答の多かった項目





令和5年度 自己評価報告書



校長 山口 実史

地域・保護者の皆さま、お忙しい中、令和5年度学校評価 関係者等アンケート調査にご回答ありがとうございました。生徒アンケート、保護者アンケート、地域アンケートをもとに、自己評価の報告をいたします。

1 学習指導について

生徒5項目、保護者4項目において、肯定回答は、生徒平均91.0%（前年度93.7%）、保護者67.3%（前年度66.6%）であった。ICTの活用や提出物に関して、生徒の評価が下がっている。生徒・保護者とも「考えたことを話し合ったり、発表し合ったりする機会がある。」が高く、話し合い活動を多く取り入れていると考えられる。

2 生活指導について

生徒3項目、保護者2項目、地域1項目において、肯定回答は、生徒平均89.0%（前年度92.2%）、保護者平均は79.7%（前年度76.9%）、地域では「交通ルールを守っている。」の質問が100%であった。生徒の評価が多少下がっている。生徒は「学校での過ごし方やルールについて考えて行動している。」、保護者は「教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。」が高かった。

3 学校行事について

生徒3項目、保護者3項目、地域2項目において、肯定回答は、生徒平均91.9（前年度93.4%）、保護者平均88.7%（前年度89.7%）、地域平均93.2%であった。前年度より多少下回ったが、運動会、合唱コンクール、修学旅行、移動教室などを実施したことで、高評価になっている。

4 キャリア教育について

生徒3項目、保護者3項目において、肯定的回答は、生徒平均75.0%（全前年度83.8%）、保護者では63.7%（前年度64%）であった。生徒の評価は大きく下回った。特に、「キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している。」が低く、68.2%であった。生徒たちにはキャリア・パスポートを活用して、目標達成のプロセスを意識させたい。

5 教職員について

生徒2項目、保護者2項目において、生徒の「先生たちは、生徒たちについていねいに指導をしている。」の肯定回答は93.1%（前年度96%）であるが、保護者の「本校は、丁寧に指導をしている。」の肯定回答は79.9%（前年度75.9%）で、生徒より保護者の方が大きく下回った。学校公開などを通して、保護者の理解を深めたい。

6 全般について

生徒6項目、保護者6項目において、生徒の「学校生活は、楽しい。」の肯定回答が87.4%、保護者の「本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。」の肯定回答は85.6%、「本校の教育活動は、子どもの成長につながる。」の肯定回答は83.8%で、高評価であった。しかし、家庭学習、学び舎、体力向上などの肯定回答は80%未満で、課題である。

7 部活動について

生徒2項目、保護者2項目において、肯定回答は、生徒平均72.8%（前年度80.1%）、保護者70.0%（前年度74.6%）であった。生徒の入部している割合が約70%なので、入部しているほとんどの生徒と保護者が満足をしていると読みとることができる。今後も、生徒が主体的に取り組み、達成感を感じられる活動を推進する。

8 学校からの情報提供について

保護者4項目、地域4項目において、肯定回答は、保護者平均80.8%（前年度75.8%）、地域平均84.1%（前年度68.1%）であった。前年度より大きく上回った。学校だより、ホームページの充実に加え、すぐる配信などペーパレス化が大きく影響している。

9 学校運営について

保護者3項目、地域2項目において、保護者の「保護者に指導の重点を伝えている」の肯定回答は73.7%（前年度70.1%）、「教職員が指導の重点を理解して教育活動に取り組んでいる。」の肯定回答は69.4（前年度66.4）であり、前年度より多少上回った。また、地域の「学校の重点目標が明確である」の肯定回答は95.5%（前年度77.7%）であり、「地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している」の肯定回答は86.4（前年度77.8%）であり、前年度より大きく上回った。今後とも、保護者、地域に対して、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りたい。

10 家庭と学校との連携について

保護者3項目、地域3項目において、肯定回答は、保護者平均51.8%（前年度60%）、地域平均77.3%（64.8%）であった。保護者は「学校公開にすすんで参加している。」「学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している。」の肯定回答が50%未満であった。地域は「地域の人や施設を教育活動に生かしている。」「学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。」の肯定回答が80%以上であった。

11 地域との連携について

保護者3項目、地域3項目において、肯定回答は、保護者平均72.1%（前年度60%）、地域平均77.3%（前年度64.8%）である。地域の行事が再開したことで、地域の行事で瀬田中学校を利用していることが考えられる。さらに、保護者・地域の方々との連携の活動を進めていく。

12 学校の安全性について

保護者3項目、地域2項目において、肯定回答は、保護者平均73.9%（前年度75.6%）、地域平均90.9%（前年度69.45%）である。保護者の回答では、自然災害時の対応の評価が低い。地域と協力して、防災訓練などを行い、保護者への理解を深めたい。

13 学校独自項目について

生徒7項目、保護者5項目、地域1項目において、肯定回答が90%以上の内容は、生徒では、「授業中に意見を交換する場がある。」93.1%、「友達に対して『思いやり』をもって接している。」92.8%、「私は自分からすすんであいさつをしている。」91.4%であった。保護者では、「学校行事に参加したい。」94.2%、地域では「本校の生徒は、すすんであいさつをしている。」90.9%であった。

令和5年度 学校関係者評価委員会 報告書

学校関係者評価委員会 委員長 横須賀 清美

【生徒】

1. 学習について	いずれの項目において約9割の満足度を得ている。 先生方の学習に対する取り組みをしっかりと生徒たちが受け入れていると思う。また、ICTの活用では第2学年の生徒たちは肯定的な回答が多い。
2. 生活指導について	先生方の指導を生徒自身が規範意識をもって行動していると感じられる。また、学年が上がるにつれて、規律の重要性の理解が深まっていると推察される。
3. 学校行事について	全体的に高評価で、特に第3学年においては、満足度が非常に高く、行事に対する達成感や充実感が得られ、先生方が生徒たちの意欲を大切にしているということを彼らの評価からもうかがえる。
4. キャリア教育について	キャリアパスポートについては、十分に活用されているとはいえない。第1学年の評価は、第2・3学年に比べて低い。学校の重点目標にもあるように“自分自身が思い描く未来を実現できる”“「キャリア・未来デザイン教育の実現」”を理解できれば今後の評価が期待される。
5. 先生について	全体的に高い満足度は得ている。その一方で、“生徒が相談しやすい”については、「思わない」と回答している生徒も複数いることから、サポートを必要とする生徒に対して留意することが必要であると考えられる。また先生方の多忙さとの関連性の有無を検討してみる必要も感じる。
6. 学校全般について	学び舎等の評価は低いものの、現在小学校との交流も進行し始めているので今後の評価に期待できると思われる。
7. 部活動について	部活動に加入している生徒にとって、楽しさや達成感を得ていることは、部活動が重要な学びの場であることを示している。近年、部活動の指導を外部へ委託する、というような動きがあるが、先生方の多忙化も含めて検討課題の一つかもしれない。
8. 学校独自項目について	問題視されている図書室の利用については、学校だよりなどで校長先生や先生方の推薦本を紹介したり、学級文庫の設置などの対策を考えてみたりするのも一つの手立てになるのではと思われる。

【保護者】

1. 学習指導について	概ね高い評価が得られているので問題はない。他方、指導等を直接見る機会の少ない保護者に対しては、もう少し情報提供が必要なかもしれない。
2. 生活指導について	概ね高い評価が得られている。集団での規律や社会性スキルの学びを学校に期待しているとも推察される。
3. 学校行事について	高い評価が得られている。生徒からの評価と連動しており、特に第3学年の保護者からはコロナが明けたことで、より高評価が得られている。
4. キャリア教育について	進路や将来の仕事に対しての情報提供の内容を検討し、さらに情報伝達手段についても検討する必要がある。
5. 教職員について	子どもたちの評価より低くなっているが、ほぼ8割の評価を得ている。これは「具体的な指導の面が見えない」ということが要因の一つだと考えられる。しかし、「相談しやすさ」の面については、保護者からの期待を込めたものとも考えることもできる。
6. 全般について	保護者が、生徒たちにとって、学校は楽しいという受けとめ方をしていることをしっかりと感じとれる評価である。それだけ、学校教育に対する期待の表れとも推測される。
7. 部活動について	生徒からの評価と同様、部活動に加入している生徒の保護者にとっては高評価が得られている。
8. 学校からの情報提供について	学校からの情報提供は高評価を得られている。一方で「学び舎」への関心が低い評価ではあるが、現在小学校との交流も進行し始めているので今後の評価に期待できると思われる。
9. 学校運営について	決して高い評価とは言い切れないが、学校に対する関心はあると感じられる。しかし、指導の重点や教育活動における取り組みについては、さほど関心がもたれていないと感じる。
10. 家庭と学校の連携について	各家庭の事情にもよるが、学校行事やPTA、地域主催の行事への参加が難点とも思える評価と理解できる。今後は発信の仕方なども考慮すべきと考える。
11. 地域との連携について	学校が地域の活動に協力していることへの認知はされているが、その情報が保護者に十分に届いていない可能性が考えられる。
12. 学校の安全性について	学校における安全教育への取り組みの評価は高いが、その一方で「安全な学校づくり」という漠然とした訊き方は、その内容が分かりづらいかもしれない。
13. 学校独自項目について	8割以上の保護者が、授業公開や学校行事に来校したいとの意思があることは、とても素晴らしいことだと思う。

【地域】

1. 生活指導について	100%の評価となり、地域の方々は生徒たちをしっかりと見守ってくださっていることがうかがえる。
2. 学校行事について	内容の充実に関して、理解があることがうかがえる。 “地域への配慮がある”の設問に「思わない」の回答理由が少し気になるところである。
3. 学校からの 情報提供について	学校だよりやホームページなどが活用され、学校公開などへ足を運んでくださっていることがわかる。その反面、「学び舎」の活動についてもう少し情報提供の必要性がうかがえる。
4. キャリア教育 について	学校の重点目標に基づき、地域への配慮や周知がされていることから十分に伝わっていると思われる。
5. 地域との連携 について	学校協議会や合同学校協議会の役割について実施されている内容の周知を明確にすれば、もっと改善されると思われる。
6. 学校の安全性 について	学校の安全性については高評価であるため、引き続き学校・地域との連携を深めて、安心・安全な学校づくりを推進したいところである。
7. 学校独自項目 について	学校が目指している学校像が、生徒たちの行動から評価された数値と受け取れる。今後も継続してほしい。

【まとめ】

瀬田中学校はとても落ち着きのある良い学校だと今回の評価の結果で感じました。
全体的にみても学校への評価・満足度がそれを表していると思います。

教職員の働き方改革の一つとして、分掌やその他の役割など組織体制の見直しの改善を図ることが必要と考えます。加えて、家庭（PTA）や学校・地域とともに教育本来の業務に専念できる環境を作り、未来を担う子どもたちの学びを今後も充実させていければと思います。

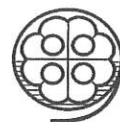
以上、瀬田中学校関係者評価委員会としてご報告いたします。

令和6年2月19日

委員長	横須賀	清美	元保護者
委員	岩崎	敬道	東京都市大学 名誉教授
委員	寺岡	英晋	日本体育大学 助教
委員	名川	志信	卒業生 元PTA会長
委員	上條	直之	在校生保護者
委員	外山	美麗	在校生保護者



「令和5年度に向けての改善方策」について実施した改善結果



校長 山口 実史

前年作成の「令和5年度に向けての改善方策」について、本年度の実施した結果を報告します。

① 学習指導

主体的な学び、探究的な学びを進める授業改善をしていくとともに ICT の活用をさらに進め自ら探究する授業を展開する。

【改善結果】校内研修会において、「主体的・探究的な学びのある授業づくり～ICT を活用した授業づくり～」をテーマに取り組んだ。肯定回答は生徒平均91.0%で、概ね満足のいく結果となった。

② 生活指導

瀬田中スローガン「信頼と思いやり」、あいさつ、タブレット3原則、服装を考える日など、分かりやすい目標を掲げ、引き続き丁寧な指導をしていく。さらに、再開される行事を通して豊かな人間性を育てていく。

【改善結果】校内研修会で、臨床心理士から「特別支援教育の理解と充実」をテーマに講演していただいた。肯定回答は、生徒平均89.0%、保護者平均79.7%であった。今後も指導を徹底していく。

③ 学校行事

新型コロナウイルスの対応下でも学校行事の実施を基本方針とする。そのために、柔軟性のある計画、安全への配慮を適切に行い、保護者の理解を得られるように、十分な情報提供をしていく。

【改善結果】新型コロナウイルス感染症が5類になり、積極的に学校行事を実施することができた。その結果、肯定回答は、生徒平均91.9%、保護者平均88.7%、地域平均93.2%で、満足のいく結果となった。

④ 進路指導

一人一人に寄り添った進路指導を展開するとともに、キャリア・パスポートの活用を丁寧にすることでさらに改善を図りたい。進路説明会への1・2年生の保護者参加を再開する。

【改善結果】肯定回答は、生徒平均75.0%、保護者平均63.7%であった。進路説明会では、3年生の保護者は多数参加したが、1・2年生の保護者の参加は少なかった。今後も、保護者への啓発活動を行う。また、キャリア・パスポートの様式を改定した。

⑤ 部活動

自主的な取組を増やし、自己肯定感を高められる活動を行いたい。厳しい練習にある充実感も味合わせるバランスが大切だと考える。

【改善結果】教職員の協力もあり、9つの部活動を開設できた。肯定回答は生徒が72.1%であるが、入部している生徒の割合から考えると満足のいく結果である。

⑥ 教職員について

生徒については引き続き丁寧な指導を重ねる中で、相談しやすい環境を育てられれば良いと考える。保護者については、その悩みを的確に把握しながら、時期を逃さずコミュニ

ケーションをとるということ、三者面談や保護者会での関わりを大切にしながら相談しやすい関係を作っていく。

【改善結果】生徒質問の「先生たちは生徒にいていねいに指導をしている。」の肯定回答は91.9%で概ね満足のいく結果である。しかし、ふれあい週間等で相談活動をしてきたが、「生徒（子ども）が相談しやすい。」の肯定回答は生徒79.1%、保護者73.0%であった。今後も、相談しやすい環境を作っていきたい。

⑦ 広報情報提供

学校の状況を知っていただけるようにするとともに、引き続き「すぐーる」の活用、ホームページ、学校だより、学年だより、学級だよりで情報発信を行う。

【改善結果】家庭配プリント等を電子化してすぐーるで配信を進めてきた。「本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。」の肯定回答は93.2%で満足のいく結果であった。

⑧ 地域との連携

地域とのつながりを維持できるボランティア活動を中心に教育活動を展開する。地域に支えられる部分は非常に大きく、生徒にそれが伝わるような指導を展開する。

【改善結果】地域の行事も復活し、生徒ボランティアの活動も活発になった。地域の肯定回答は90.9%で概ね満足のいく結果となった。

⑨ 学校安全

地域との防災訓練が行われていないことが一つの大きな原因だと考えられる。その再開に全面的に協力するとともに中学生がかかわれる形を考え、また、区のかかわりを強く求めていく。

【改善結果】セーフティ教室や毎月避難訓練を実施した。2月には町会の防災訓練も行った。肯定回答は地域平均90.9%、保護者平均73.9%であり、保護者にも学校の安全性を説明していきたい。

⑩ 全般

高い数値をさらに伸ばすため、生徒が明るく元気で楽しく通える学校づくりを進めるため、教育活動全般について前向きな判断をしていきたい。引き続き「信頼と思いやり」、「あいさつ」を大きな柱に据えて明確な取り組みとしていく。小学校と連携を取りながら学び舎としての教育活動を再開する。

【改善結果】生徒の「学校が楽しい。」は87.4%、保護者の「本校の学校生活は子どもにとって楽しい。」は85.6%で、良い評価であった。しかし、学び舎の活動は課題となった。小中連携を踏まえて、改善していく。

⑪ 学校独自項目

「信頼と思いやり」を大切にした指導を引き続き行う。また、図書館の活用については委員会活動や授業を通じて司書と連携しながらその活用を図る。保護者についてはさらに学校の開放を進めることで理解を深めていく。

【改善結果】生徒の「あいさつをしている。」「思いやりをもって接している。」「授業中に意見交換をする場がある。」の肯定回答はすべて90%以上であった。保護者の「学校行事に来校したい。」の肯定回答が94.2%と関心高い。課題としては、「本を読んでいる。」は69.6%、「図書室を利用している。」は50.1%と低かった。読書量の調査や読書週間を設定して、読書活動を推奨していきたい。



令和6年度に向けての改善方策



校長 山口 実史

本校学校関係者評価委員長、横須賀清美様より、令和5年度の学校関係者評価結果の報告と提言をいただきました。報告を踏まえ、令和6年度に向けての改善方策および目標を作成いたしました。

1 学習について

学習や学校独自項目において、肯定的な回答が多い。次年度も、教材研究に励み、生徒の関心や意欲を高める工夫を行う。どの項目においても、肯定回答85%以上を目指す。

2 生活指導について

生徒たちは落ち着いており、肯定的な回答が多い。今後とも、規範意識や学校や社会のルールを守る意識を高める指導をしていく。どの項目においても、肯定回答85%以上を目指す。

3 学校行事について

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、学校行事も復活している。生徒たちも楽しみにしている。いろいろな学校行事を通して、成功体験や達成感を味わわせたい。どの項目においても、肯定回答90%以上を目指す。

4 キャリア教育について

キャリア・パスポートの活用に課題があった。キャリア・パスポートの様式を改定した。また、次年度から、三者面談等でキャリア・パスポートを活用して、キャリア教育を進めたい。どの項目においても、肯定回答80%以上を目指す。

5 先生について

「ていねいに指導している。」で肯定回答は93.1%であった。次年度も、90%以上を目指す。「生徒が相談しやすい。」では肯定回答が低かった。教員から声やふれあい週間を活用して相談活動を図り、次年度では肯定回答85%以上を目指す。

6 全般について

学校の様子、放課後の家庭学習、小中の連携、体力に関する質問となっている。特に小中の連携では、肯定回答が51.9%で課題となった。小中の交流やボランティア活動を通して、多摩川の学び舎を意識させる。「学び舎の小学校に行ったり、小学生が来たりする機会がある。」で肯定回答75%以上を目指す。

7 部活動について

今年度の部活動加入率は73%で、ほとんどの生徒が「楽しい。」「達成感がある。」の質問に肯定的な回答をしている。来年度も、継続して指導をしていく。

8 学校独自項目

あいさつ、思いやり、学習、読書に関する質問で、読書以外は肯定的な回答が多かった。「本を読んでいる。」で肯定回答が69.6%であった。朝読書や言語活動を通して、読書の良さを意識させる。「本を読んでいる。」で肯定回答80%以上を目指す。